

# TOPOLOGY NEWS

Series B No. 6

Floer ホモロジー かいせつ

吉田 朋好

修士論文・博士論文 速報

トポロジー・シンポジウムのお知らせ

1989年4月

# 目次

Floer ホモロジー がいせつ ----- /  
吉田 朋好

修士論文・博士論文速報 ----- 21  
北海道大学  
山形大学  
茨城大学  
千葉大学  
東京大学  
東京工業大学  
早稲田大学  
金沢大学  
信州大学  
名古屋大学  
京都大学  
関西学院大学  
神戸大学  
岡山大学  
広島大学  
高知大学  
九州大学  
大阪大学

トポロジー・シンポジウムのお知らせ ----- 47

i 先号の会計報告(2月末現在)

繰越分	Δ10.680	
No.5印刷費(含送料)		57.600
返送料		1.730
売上(含back number)	47.710	
<hr/>		
残高	Δ22.300	

ii お忆がいどころ記事を寄せて頂いた 吉田朋好さん、  
資料等を送って頂いた 佐藤肇さんと 松井明徳さん、また  
論文要旨を書いて下さった 方々に この場を借りて、御礼  
申し上げます。

No.1 から No.6 まで お世話になりましたが、このたび転勤  
することとなりましたので、トポロジー・ニュースは 加藤先生に  
ひきつぐことと致します。長い間 ありがとうございました。

トポロジー・ニュース 連絡先

〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1  
九州大学理学部数学教室  
加藤 十吉

TEL (092) 641-1101 内線4361

文責 矢野 公一  
(3.2)

# Floer ホモロジー かいせつ

都立大 吉田 朋好

## 1. 序文

Floer ホモロジーの解説をかくようにいわれたが大変に気がおもい。この記事は原稿をそのまま写真印刷するらしいから人に読める字がかけないものにとっては苦痛である。Floerの論文はきっちり書かれたものではない。十一の符号が途中で逆転したり重要な部分が「だれかさんに教えてもらった」風の2,3行でぬたづけられたりして、昔 Atiyah や Hirzebruch の論文で勉強したものにとってはもう少し何とかしてくれないかというクチを二倍したくなる。Floer ホモロジーは今どの計算がほとんどなされていないので、低次元トポロジーでの有効性が明らかではない。にもかかわらず、少なからぬ興味をもたれているのは、思いかげないところには思いかげないホモロジー理論があるという驚きの他に、それが Donaldson 理論の自然な展開の流れの一つであることと物理との関連が深いことなどが原因であるように思う。不幸にして筆者はこの両方とも知らない。量子力学は数年前からつよみぐい勉強をしてきたが、Witten の場の量子論には Floer

理論の解説がわかるような域には達していない。Floer理論の数学的内容を知りたいければ各自勝手に論文を読めば良いわけで、解説というのは本来こういった思想的背景をみんなをわかりやすく説明すべきものである。つまり筆者にはそういう高級な能力はない。だから題名には「解説」と書かないで「かいせつ」と書いた。要するに解説ではなくダイジェストなのである。

しかし Floer の論文をながめると不ていぬいさに腹立たしくもあるが、全体としては自然な数学の流れにのっている感じで、例えば具体的な計算が進めば、非線形解析と3次元トポロジーとの微妙な交錯がながめられるかもしれない。

## 2. Floer ホモロジー ダイジェスト

$M$  を 3次元 (2-) ホモロジー球面とし、向きづけと Riemann 計量が与えられているとする。何故にホモロジー球面に限定するかといった本質的な問題は各自が勝手に考えなければならぬ。  $P = M \times SU_2$  を  $M$  上の自明な  $SU_2$  バンドルとする。  $\mathfrak{m}_2$  を  $SU_2$  の リー環とし、  $\Omega^1(M) \otimes \mathfrak{m}_2$  を  $M$  上の (なめらかな)  $\mathfrak{m}_2$ -係数 1次微分形式の空間とする。  $P$  上の自明な接続を  $\theta$  とかく。つまり  $\theta$  とは  $M$  の任意の path  $\gamma$  に対し、  $\gamma \times a_0 \subset M \times SU_2$  ( $a_0 \in SU_2$ ) の形の  $M \times SU_2$  の path を horizontal lift とみなす接続をあらわす。行くと  $P$  上の勝手な接続は  $\theta + a$ ,  $a \in \Omega^1(M) \otimes \mathfrak{m}_2$ , の形にか

かれる。微分幾何の用語に慣れていないと、以上書いた  
 ぐらいのあたりで頭がいたくなる。筆者は去年5月頃まで  
 そういう状態であった。しかし今は二のようにすらすら書ける。  
 つまり苦勞しないので、二以上の説明はつけない。Donald  
 son 以後二のようなことはトポロジーの“いろは”になっている  
 のである。

$M$  から  $SU_2$  への (各めら各め) 写像の全体を  $\mathcal{G} = \text{Map}(M, SU_2)$   
 と書いてゲージ群とよぶ。二は  $P$  のバンドル自己同型群と  
 みなされる。  $P$  上の接続全体は  $\mathcal{A} = \Omega^1(M) \otimes \mathfrak{m}_2$  で、こ  
 れは Affine 空間であり、自然に  $\Omega^1(M) \otimes \mathfrak{m}_2$  と同一視か  
 できる。二を  $\mathcal{A} \equiv \Omega^1(M) \otimes \mathfrak{m}_2$  とかく。  $\mathcal{G}$  は  $\mathcal{A}$  に作用  
 する。  $g \in \mathcal{G}$ ,  $a \in \mathcal{A}$  に対し

$$g(a) = g a g^{-1} + g d g^{-1} \in \mathcal{A}$$

とあるのである。右辺はちゃんと  $\mathfrak{m}_2$ -係数 1-微分形式  
 になっている。二も筆者は現在ではすらすら書けるので  
 二以上の説明はしない。つまりトポロジーの“いろは”で  
 ある。

$\{\pm 1\} \subset \mathcal{G}$  を定値写像  $M \rightarrow \pm 1$  とすると任意の接  
 続  $a \in \mathcal{A}$  に対し  $(\pm 1)(a) = a$  となる。  $\mathcal{G}_a = \{g \in \mathcal{G} \mid g(a) = a\}$   
 を  $a$  の固定群とすると  $\mathcal{G}_a \supset \{\pm 1\}$  である。  $\mathcal{G}_a \neq \{\pm 1\}$  であ  
 るとき  $a$  は可約。  $\mathcal{G}_a = \{\pm 1\}$  のとき  $a$  は既約であるとい  
 う。  $\mathcal{A}^* \subset \mathcal{A}$  を既約な接続の全体とする。  $\mathcal{A}^*$  上には  
 $\mathcal{G}/\{\pm 1\}$  が自由に作用している。  $\mathcal{G}$  の元  $g: M \rightarrow SU_2$  に

例. 写像度  $\deg g \in \mathbb{Z}$  が定義できる  $M$  と  $SU_2$  はともに向きつけられた 3次元 固多様体だからである. ここで  $g^0 \subset g$  を  $g^0 = \{g \in g \mid \deg g = 0\}$  とおくと, これは  $g$  の部分群になる.  $A^*$  の  $g^0$  及び  $g$  による商空間 (こういうものがあるとして) をそれぞれ  $\bar{B}^* = A^*/g^0$ ,  $B^* = A^*/g$  とおく. 自然な写像  $\bar{B}^* \rightarrow B^*$  があってこれは  $\mathbb{Z}$ -covering となっていると思える.

次に関数  $f: A^* \rightarrow \mathbb{R}$  を次のように定義する.

$$f(a) = \int_M \text{tr} \left( \frac{1}{2} a_1 da + a_1 a_2 a_3 \right) \quad (a \in A^*)$$

ここで  $\wedge$  は微分形式の外積で (ただし係数については行列の積をとる),  $\text{tr}$  は係数の trace をとることをあらわす. すると右辺の積分の意味は  $M$  上の 3次実微分形式になり, 従って右辺は一つの実数になるのである.  $f$  を Chern-Simons 関数とよぶ.  $f$  は  $g$  の作用に同じ次のようにふるまう

$$f(ga) = f(a) + c \deg g$$

ただし  $c$  はある定数.  $c$  の値を知りたい人は実際に計算すればよい.

このことから  $f$  は  $\bar{B}^*$  上の実数値関数 及び  $B^*$  上の

$\mathbb{R}/\mathbb{C} = S^1$  値関数を定義する。

$$\begin{array}{ccc} \overline{B}^* & \xrightarrow{f} & \mathbb{R} \\ \downarrow & & \downarrow \\ B^* & \xrightarrow{\overline{f}} & \mathbb{R}/\mathbb{C} \end{array}$$

Floer ホモロジーとは  $\overline{f}$  の モース理論  $\equiv f$  の  $\mathbb{Z}$ -同変  
モース理論 により得られる ホモロジー理論 である。

ただし モース理論 といっても、慣れ親しんだ有限次元多様体上のモース理論ではないので、水水水は関数解析という異境の地に踏み入らなければならぬ。これまですらら書いてきた  $A, A', g, \overline{B}^*, B^*$  達は全部関数空間なので本当はとてすらら書けるような代物ではないのである。

まず  $\overline{B}^*, B^*$  を  $\infty$ 次元 Riemann 多様体とする必要がある。これは次のような手順で与えられる。最初  $A \equiv \Omega^1(M) \otimes \mu_2$  は  $M$  上の  $\mu_2$ -係数 1-微分形式 (smooth) としてこれをソボレフ norm で完備化し、 $A_k^p$  というおそろしい空間をつくる。

$$\begin{aligned} A_k^p &= L_k^p(\Omega^1(M) \otimes \mu_2) \\ &= \Omega^1(M) \otimes \mu_2 \text{ の ソボレフ norm} \\ \|a\|_k^p &= \int_M \sum_{i=0}^k |\nabla^i a|^p \quad \text{による完備化。} \end{aligned}$$



要するに  $k$  回までの微分の  $L^p$ -norm を使って完備化する  
 わけで、こうして smooth なものを拡張して得られる  $A_k^*$  の元  
 は  $k$  回までの微分については何らかの control がきく  
 というわけである。  $p$  と  $k$  をいろいろとりかえると様  
 々な norm ができるとは異なった  $(k, p)$  の内で成り立つ基本的  
 な定理が ソボレフの埋蔵定理で、これは関数解析の手に  
 のっている。 どういう norm で完備化するかは、何を必要とする  
 かで決まる。 この場合必要なことは  $\infty$  次元 Riemann 多様体  
 を得ることである。 そのために  $A^*$  の  $a \in A^*$  での接ベクトル空間  
 $T_a A^* \equiv \Omega^1(M) \otimes \mu_a$  ( $A$  は affine 空間だから) に内積を入  
 れなければならぬ。 つまり  $L^p(\Omega^1(M) \otimes \mu_a)$  は  $L^2$  に入っている  
 必要がある。 又連続性 (=  $C^0$ ) を要求することにすると、例え  
 ば  $A_1^*$  はこれらの要求にかなう。 実際にはこれより強い norm  
 なら何でもよい。 これは  $\mathcal{F}$  上のモース理論としても、本質に必  
 要なもの  $f$  の critical point を結ぶ積分曲線の存在多様体  
 で、これは  $M \times \mathbb{R}$  上の楕円型作用素 (適当な境界条件付きの)  
 の解空間にあるので regularity から どういう norm を使っ  
 ても同じものが得られる。

又ゲージ群  $\mathcal{G}$  も同様に完備化する。 ただし  $\mathcal{G}$  の  $A$  の作  
 用において一回微分するので、一つ強い norm で例えば  
 $\mathcal{G}_2^*$  とする。

このようにして norm を入れて完備化すると  $A$  はめでた  
 く各接ベクトル空間に内積が次のように入る。

$$\xi, \eta \in T_a A \cong \Omega^1(M) \otimes \mu_2$$

(完備化の記号は省略)

に對し

$$\langle \xi, \eta \rangle = - \int_M \text{tr}(\xi \wedge * \eta)$$

ただし  $*$  は  $M$  の Riemann 計量による Hodge  $*$  operator で係数にはかわらない。

$A^*$  の構造はこれにより、問題は商空間  $\widehat{B}^*$ ,  $B^*$  の構成をすることである。また  $g$  の  $A^*$  の作用の orbit  $g \cdot a$  ( $a \in A^*$ ) の接ベクトル空間を求めるとこれは

$$d_a : L_2^*(\Omega^0(M) \otimes \mu_2) \longrightarrow L_1^*(\Omega^1(M) \otimes \mu_2)$$

$$\xi \longmapsto d_a \xi = d\xi + a \wedge \xi + \xi \wedge a$$

の像であることがわかる。  $\text{Im } d_a$  が closed であることは、 $M$  が compact であるから  $d_a^* d_a$  ( $d_a^*$  は  $d_a$  の  $L^2$  での formal adjoint) が elliptic operator であることから、  $\text{Ker } d_a^\perp$  で  $\|\phi\| \leq c \|d_a \phi\|$  ( $\phi \in \text{Ker } d_a^\perp$ ) の形の不等式が成り立つことが出る。そこで  $\text{Im } d_a$  の直交補空間をとるとこれは

$$\text{Ker } d_a^* \quad \left( d_a^* : \Omega^1(M) \otimes \mu_2 \longrightarrow \Omega^0(M) \otimes \mu_2 \right)$$

となる。 Slice 定理 (Freed-Uhlenbeck 参照, Donaldson 参照) から  $\widehat{B}^* = A^*/g_0$ ,  $B^* = A^*/g$  はともに

$\text{Ker } d_a^*$  を接ベクトル空間とする  $\infty$  次元 Riemann 多様

体になる。(各自勝手に左しめろ)

ここで  $\bar{B}^*$ ,  $B^*$  は  $\infty$ 次元 Riemann 多様体になったときに Chern-Simons 関数  $f$  の勾配ハクトル場  $\text{grad} f$  を求める。これは簡単な計算で

$$\text{grad}_a f = - * F_a$$

(ただし  $F_a = da + a \wedge a$  は  $a$  の曲率形式) であることがわかる。

こうすると  $f$  の critical point がわかる。  $F_a = 0$  となる接続の同値類が  $f$  の critical point である。  $F_a = 0$  となる接続はつまり“おたいら”の接続で、古来欧米ではこのような接続を flat connection, 本邦では平坦接続と称している。本稿はタイピストなので単に“ヒラ”と呼ぶことにする。“ヒラ”は次のようにして構成される。  $\rho: \pi_1(M) \rightarrow SU_2$  を表現として  $\bar{M}$  を  $M$  の普遍被覆空間とし、  $\bar{M} \times SU_2$  を deck 変換と  $\rho$  による対角作用でやって  $\bar{M} \times_{\pi_1(M)} SU_2$  を作り、これは  $M$  上の自明な  $SU_2$  バンドルであるが、  $\bar{M} \times SU_2$  上の自明な接続におり誘導されるヒラ接続をもつ。ヒラはこのようにして作られる。故にヒラ全体は

$$V \equiv \text{Hom}(\pi_1(M), SU_2) / \text{conjugation}$$

と一対一対応にある。  $V$  は実解析集合で  $V$ -例  
 $\equiv V$ -{自明表現} が  $f$  の critical point set となる。

ここで問題がおこる。つまり一般には  $\dim V > 0$   
となり得るので、このとき  $f$  の critical point はバタ→  
とでてくるわけで、 $f$  はモース関数ではない。はて  
困ったものだ。というわけで摂動という二つをやる。 $f$   
に適当な関数  $h$  をたして  $f' = f + h$  をつくり  $f'$  が  
モース関数になるようにする。  $h$  はでたらめにえらんでは  
control がきかなくなるのである程度 reasonable  
なものにする。どういう風に reasonable にするかにつ  
いては熱心な人は Floer の論文にあたられよ。  
又、摂動が気に入らない人は Donaldson 理論も  
Casson 不変量もともに摂動しなければ定義できな  
いことを思いみるべきである。

本稿では摂動もなににも全部うまくいったとして  $f$  は  
はじめからモース関数つまり critical  $f$  は非退化とい  
話をすあめる。ダイジェストは楽しんであるべきだから  
いれよう。

critical set についてはもうわかったから (ダイジェストのため)  
積分曲線を考える。  $a$  と  $b$  を  $f$  の2つの critical  
points つまり  $\tau$  として、  $a$  と  $b$  を結ぶ積分曲線  
 $A = \{A_t\}_{-\infty < t < \infty}$  を考える。各  $t$  について  $A_t$  は  $P$  の

接続で  $A_t \rightarrow A$   $t \rightarrow -\infty$ ,  $A_t \rightarrow B$   $t \rightarrow +\infty$  となっている。 $A = \{A_t\}$  が積分曲線であるとは

$$\frac{\partial A_t}{\partial t} + *F_{A_t} = 0$$

という非線形偏微分方程式の解であることと同値である。 $A = \{A_t\}$  は  $M \times \mathbb{R} \times SU(2)$  の接続とみることができる。このみかたでの方程式は  $A$  についての Yang-Mills 方程式

$$F_A = *F_A$$

と同値であることがわかる。こうして問題は 4次元多様体  $M \times \mathbb{R}$  上の問題におおされる。

$\mathcal{M}(A, B) \equiv \{A \text{ と } B \text{ を 結ぶ 積分曲線の全体}\}$

とおくと、これは  $M \times \mathbb{R} \times SU(2)$  の境界条件つき Yang-Mills 接続の空間とみられる。このような理論は Taubes により定式化されていて  $M$  の Riemann 計量と上にあげた振動関数  $\eta$  をうまくとりこに、有限次元多様体らしめることができる。

$\mathcal{M}(A, B)$  の多様体としての構造は面白い問題であるが  $\dim \mathcal{M}(A, B)$  は Atiyah-Patodi-Singer により求められる。これは Spectral Flow とよばれる量が次のように関係してくる。

$\dim \mathcal{M}(a, b) = \dim T_A \mathcal{M}(a, b)$  ( $A \in \mathcal{M}(a, b)$ ) で後者は非線形方程式  $F_A = +F_A$  の  $A$  での線形化方程式の解空間の次元で与えられる。

今  $a \in A^+$  に対し operator  $D_a$  を

$$D_a : \Omega^0(M) \otimes \mathcal{M}_2 \oplus \Omega^1(M) \otimes \mathcal{M}_2 \rightarrow \Omega^0(M) \otimes \mathcal{M}_2 \oplus \Omega^1(M) \otimes \mathcal{M}_2$$

$$D_a(\varphi, \psi) = (d_a^+ \psi, +d_a \psi + d_a \varphi)$$

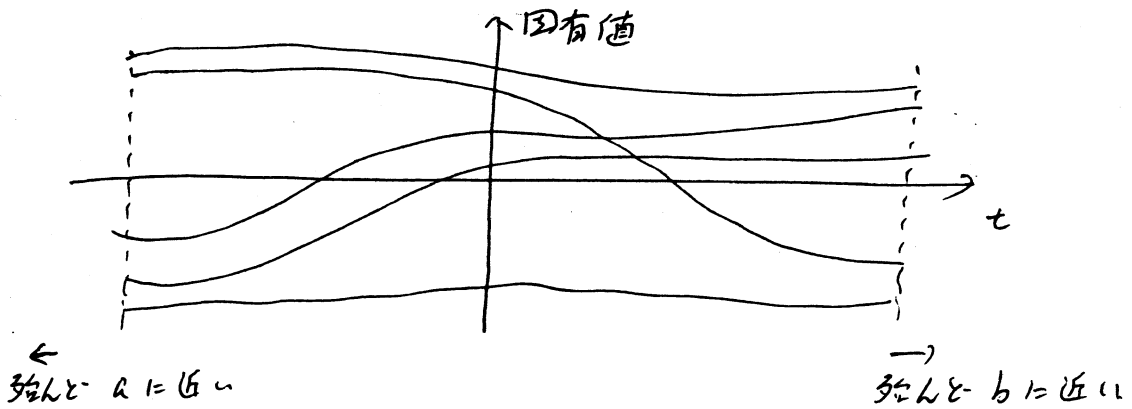
で定義すると  $F_A = +F_A$  の線形化方程式は family  $\{\alpha_t\}_{-\infty < t < \infty}$ ,  $\alpha_t \in \Omega^0(M) \otimes \mathcal{M}_2 \oplus \Omega^1(M) \otimes \mathcal{M}_2$  についての方程式

$$\frac{\partial \alpha_t}{\partial t} + D_{h_t} \alpha_t = 0$$

$(\{h_t\} = A, -\infty < t < \infty)$  とおかれる。各  $t \in \mathbb{R}$  に対し

$D_{h_t}$  は自己共役 (擾動後は殆んど自己共役) 作用素で、固有値の実数部分は  $\mathbb{R}$  上の可算無限個の実数集合で、 $\pm\infty$  のみに集積点をもちかつ  $\pm\infty$  に非有界である。

$D_{h_t}$  の固有値は  $t$  の関数で  $t$  を  $-\infty$  から  $+\infty$  まで動かすと  $D_a$  の固有値から  $D_b$  の固有値まで連続に変化する graph が得られる。  $a$  と  $b$  は非退化と仮定すれば  $\ker D_a = 0$ ,  $\ker D_b = 0$  でこの graph は次のようにあらわされる



今整数  $n_+$ ,  $n_-$  を

$n_+ = \left\{ \begin{array}{l} -a \leq t < + \text{に 変化する固有値の重複度を} \end{array} \right\}$   
 回数

$n_- = \left\{ \begin{array}{l} +a \leq t < - \text{に 変化する固有値の重複度を} \end{array} \right\}$   
 回数

とする。すると

$n_+ =$  線形化方程式  $\frac{\partial \alpha_t}{\partial t} + D_{\alpha_t} \alpha_t = 0$  の解空間  
 の次元 (ただし解とは有界な解のこと)

$n_- =$   $\frac{\partial}{\partial t} + D_{\alpha_t}$  の adjoint 作用素の解空間の  
 次元 (これも有界な解のこと)

となる。どうしてこうなるかは別にもつたしいことではな  
 いから 演習問題とする。

$n_- = 0$  であるとき  $A \in M(a, b)$  の近傍で  $M(a, b)$  は  
 smooth 多様体の構造をもつ。一般には  $n_+ - n_-$  を

から  $p_-$  を引いた数は  $\theta'$  のとり方によらない,  $\chi = 2$

$$\deg(a) = \text{Spectral Flow}(\theta' \rightsquigarrow a) - p_- \pmod{8}$$

と定義し, これを  $a$  の階級とする.  $\equiv$  は Spectral Flow

$(\theta' \rightsquigarrow a)$  とは  $\theta'$  と  $a$  を結ぶ接続の列  $\{a_t\}$  についての  $D_{a_t}$  の Spectral Flow の  $\equiv$  とである.  $\pmod{8}$  をとる

のは  $a$  のかわりに  $g(a)$   $g \in G$  をとって Spectral Flow  $(\theta' \rightsquigarrow g(a))$  をとると, これは Spectral Flow  $(\theta' \rightsquigarrow a)$  と

Spectral Flow  $(a \rightsquigarrow g(a))$  の和になり, 後者は  $\pm 8 \deg g$

となる.  $a$  と  $g(a)$  は  $\mathcal{B}^*$  の中で同じ元をあらわすので,

$8\mathbb{Z}$  の ambiguity が出る. どうして  $\equiv$  は  $8$  が出てくるの

かは Spectral Flow ではなく  $\mathcal{M}(a, g(a))$  ( $a$  と  $g(a)$  を結ぶ積分曲線の多様体) を直接考えてみる方が早い.

$M \times \mathbb{R} \times SU_2$  の接続として  $A = \{a_t = a\}$  (つまり  $a_t = a$  で一定) というものをとると  $a$  がどうだからこれは Yang-Mills

接続 ( $F_A = 0$ ) で  $a$  と  $a$  を結ぶものである. この接続に

Taubes construction で  $S^4$  上の concentration Yang-Mills

接続を貼りつけることができて, この構成により local diffeomorphism

$$M \times \mathbb{R} \times \mathbb{R}^+ \times SO_3 \rightarrow \mathcal{M}(a, g(a))$$

(ただし  $\deg g = 1$ ) が得られ,  $\mathcal{M}(a, g(a))$  は 8次元の成



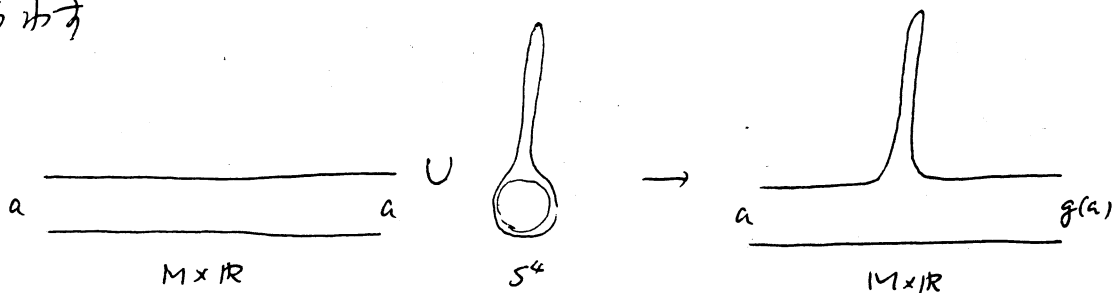
Index  $A$  とおいて、これを計算すれば  $\dim M(a, b)$  がわかる。 $\eta_+ - \eta_-$  を Spectral Flow とおいて、これを Atiyah-Patodi-Singer により計算できる。Floer ホモロジーは非線形 Atiyah-Patodi-Singer 理論という側面をもっているのである。

そこでいよいよ Floer ホモロジーの chain 複体を定義する。Chain 複体は、まず  $\pi$  という接続の周りに階級差をつけ、その後、同一階級のものを生成される自由  $\mathbb{Z}$ -モジュールをつくり、それを Chain 群とする。しる後階級差 1 のものの間に  $\partial$  作用素を定義してホモロジー群をつくる。

### ① 階級差の定義

$\{a_t\}$  を自明な接続  $\theta$  と一つの  $\pi$  という接続  $a$  を結ぶ  $P$  の接続の列とし、 $D_{a_t}$  の Spectral Flow を考える。ただし  $D_\theta$  は 3次元の kernel  $H^0(M, \mathcal{L}_2)$  をもつので spectral flow はこの場合うまく定義できない。そこで  $\theta$  の近くに  $\theta'$  (既約接続) をとると  $D_{\theta'}$  は kernel つかい 0-固有値をもたない。  $D_\theta$  の kernel  $H^0(M, \mathcal{L}_2) \cong \mathcal{L}_2$  の 3次元部分空間は  $D_{\theta'}$  の 3つの 1次元固有空間に分裂すると考えられる。そのときできる負固有値の個数を  $P$  とおき ( $0 \leq P \leq 3$ )。そうすると Spectral Flow ( $\theta' \rightarrow a$ )

分をもつとわかる。ここで  $M \times \mathbb{R} \times \mathbb{R}^+ \times SO_3$  の最初の  $M \times \mathbb{R}$  は concentrated connection の中心の位置,  $\mathbb{R}^+$  は concentration の度合  $SO_3$  は attaching の仕方をおさらす



Concentrated connection ( $c_2=1$ ) を attach すると  $a$  が  $g(a)$  ( $\deg g=1$ ) にかわる。これにお  $M(a, g(a))$  は次元  $\delta$  をもつとわかる。

このように Flux ホモロジーの chain 群の degree は mod  $\delta$  でしかさまらず。  $\mathbb{A}^1$  が自分のしっぽをなんているようにぐらっと変わった形になっている。だからどこか上か下かわからない。もともとどうだから階級のつけ方も平等なのである。 Stern という人が  $\mathbb{A}^1$  のしっぽを切っておすぐにしたと主張したそうだが。うわさによるとあまりうまくゆかなかったということである。

mod  $\delta$  というのは大いに自然なことで、丁度単位の荷電が  $\delta$  でこれを自明な接続  $\mathcal{G}$  にかうけもち。他の既約な  $\mathcal{G}$  が分数荷電をうけてゐるようなわけで。これは  $M$  を bound する 4次元多様体上の Yang-Mills

接続との関連で考えてゆけば、もっとはっきりするだろう。

### ② 作用素の定義

$a$  をひとつのヒラ接続とし、 $\partial a$  をきめたい。まず形式的に

$$\partial a = \sum_{\deg a - \deg b = 1} n_{ab} b \quad n_{ab} \in \mathbb{Z}$$

とおいて  $n_{ab}$  をきめる。  $\deg a - \deg b = 1 \pmod{8}$  だから  $\mathcal{M}(b, a)$  は  $(8k+1)$  次元の成分から成る。  $\mathcal{M}(b, a)$  の中に 1次元多様体がないときは  $n_{ab} = 0$  とする。  $\mathcal{M}(b, a)$  の中に 1次元多様体があるときは、compactness 定理から 1次元成分は有限個の連結成分から成る二つがわかる。この連結成分に orientation を入れ、その向きを積分曲線の  $\mathbb{R}$  成分方向と比較して一致すれば +1, 反対向きなら -1 とし、 $n_{ab}$  は  $\pm 1$  の和として定義する。連結成分の orientation をどうやってきめるかは次に述べる。

任意の二つのヒラ  $c, d$  に対し、 $\mathcal{M}(c, d)$  の連結成分はすべて orientable である。理由は Donaldson 理論の応用をすればよいので次のようにする。  $A \in \mathcal{M}(c, d)$  での  $\mathcal{M}(c, d)$  の接ベクトル空間は  $F_A = +F_A$  の線形化方程式

$$\frac{\partial}{\partial t} + D_{A_t} = 0 \quad (A = \{A_t\})$$

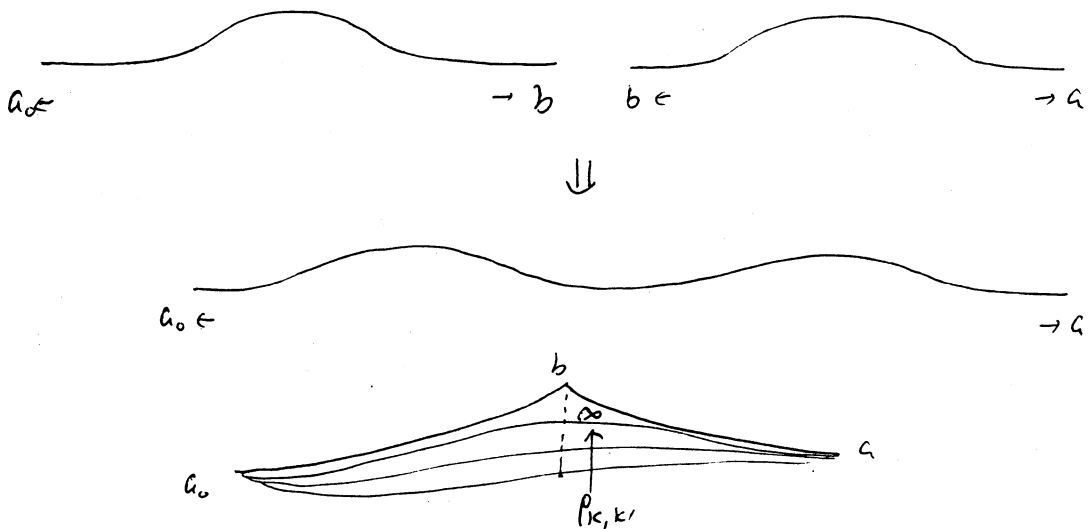
の解空間 (有界な) と同一視できる。そこで  $B^*(c, d)$  を  $c$  と  $d$  を結ぶ接続のゲージ同値類 (= いうものはすべて適当な norm で完備化したものを考える) の空間とすると、 $M(c, d) \subset B^*(c, d)$  で、 $M(c, d)$  の接ベクトルバンドルは  $B^*(c, d)$  上のベクトルバンドル (正確には virtual バンドル) の制限であることがわかる。  $B^*(c, d)$  は単連結になるのでバンドルは orientable であることがわかる。  $B^*(c, d)$  の単連結性は ゲージ群  $G(c, d)$  が連結である (連結成分は一つある) ので少し注意しなければならないが Freed-Uhlenbeck の方法で証明できる。そこで  $B^*(c, d)$  上の virtual ベクトルバンドルの determinant バンドルの trivialization を与えれば、これは  $M(c, d)$  の各連結成分の orientation を与えることになる。

そこで  $a_0$  をこの一つとし、これを fix する。他の  $a$  について  $M(a_0, a)$  を任意に上のようにして向きをつける。  $a$  のとり方によっては、 $M(a_0, a)$  が空集合ということもあり得るので、そのときは  $B^*(a_0, a)$  の中にある  $M(a_0, a)$  の代用物となるべき有限次元部分多様体をとってこれを向きをつける。 いろいろな風に代用物を

とるかについては、もう手が渡してきたので書かない。  
 熱心な人は Floer の論文をあたられよ。ともあれこうして  
 あつての  $M(a_0, a)$  に向きをつける。  $M(a_0, b)$ ,  $M(a_0, a)$   
 の向きから  $M(b, a)$  の向きを次のようにつける。二山は  
 あつて  $\mathbb{R}$ -作用 (平行移動) をもち、商空間  $\hat{M}(a_0, b)$ ,  
 $\hat{M}(a_0, a)$ ,  $\hat{M}(b, a)$  は一次元値の多様体となる。任意の  
 compact set  $K \subset \hat{M}(a_0, b)$ ,  $K' \subset \hat{M}(b, a)$  に対し

$$K \times [p_{K, K'}, \infty) \times K' \rightarrow \hat{M}(a_0, a)$$

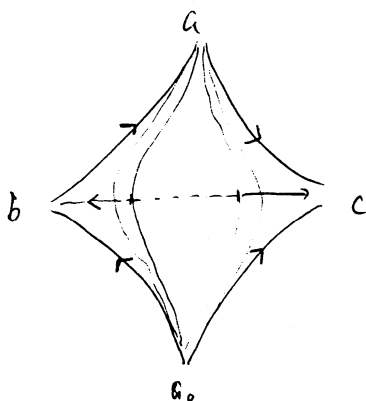
という中への位相同型写像が  $K, K'$  の中の積分曲  
 線 (Yang-Mills 接続) をつなぐことにより得られる。



まし中の  $[p_{K, K'}, \infty)$  は 2つの山の距離をあらわすと思  
 えはよい。こうして  $K, \hat{M}(a_0, a)$  の向きつけから  $K'$  の  
 向きつけがきまる。故に  $M(a_0, b)$ ,  $M(a_0, a)$  の向きつけ

から  $M(b, a)$  の向きづけが得られる。こゝに向きづけが与えられ、2-作用素が定義される。

$\partial\partial = 0$  は 2次元の  $M(a, b)$  の boundary の状況を調べることに於て得られる。次の絵をみよ。



$$\begin{aligned} \text{即ち } \dim M(a_0, a) &= 2, & \dim M(a_0, b) &= 1, & \dim M(b, a) &= 1 \\ \dim M(a_0, c) &= 1, & \dim M(c, a) &= 1 \end{aligned}$$

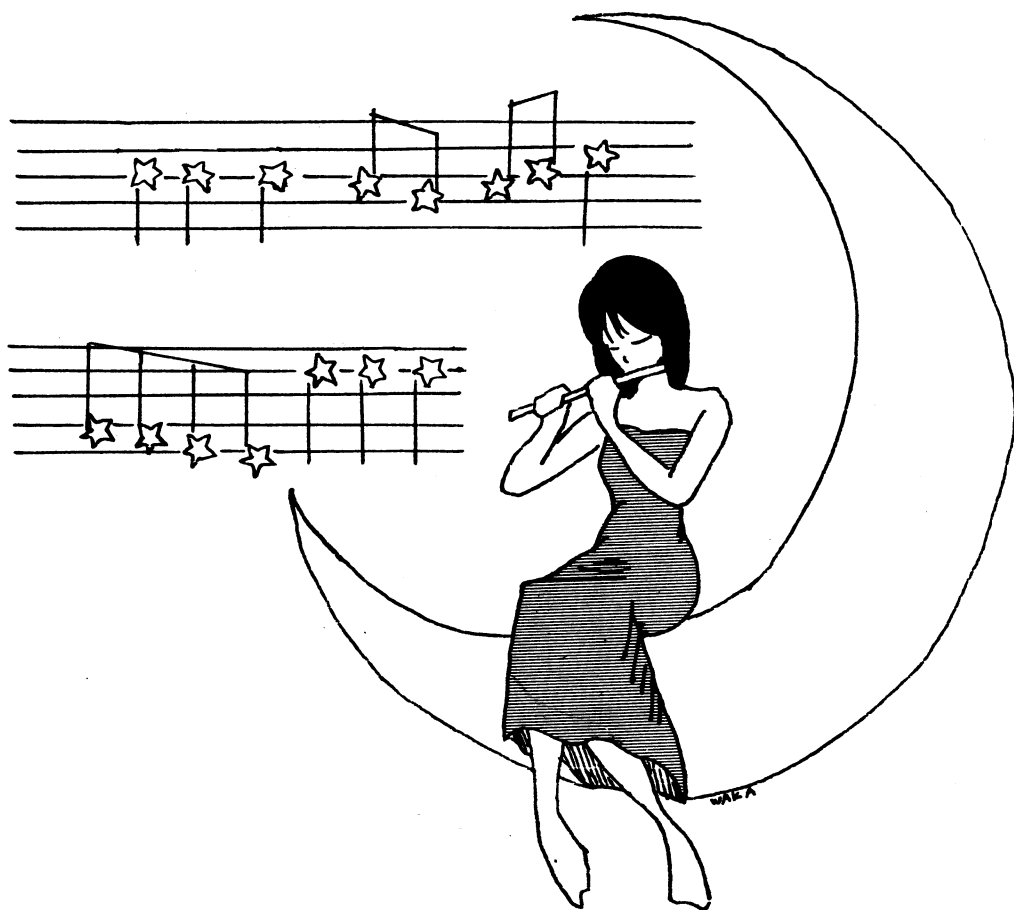
の絵とある。  $M(a_0, a)$  は与められた 2次元多様体で  $\hat{M}(a_0, a)$  は 1次元多様体 従つて open arc とある。  $\hat{M}(a_0, a)$  は境界として 2つの end (=これは  $\hat{M}(a_0, a)$  に入っていない) をもち、それは  $b, c$  である。 亦つて 2次元成分の boundary はこのようであることは 極限を調べることに於て証明される。  $\hat{M}(a_0, b) \times \mathbb{R}_+ \times \hat{M}(b, a)$  と  $\hat{M}(a_0, c) \times \mathbb{R}_+ \times \hat{M}(c, a)$  は  $b$  と  $c$  を結ぶ arc 上にはのつた 反対向きの open arc と同一視でき、 $\mathbb{R}_+$  で orientation を考えると、例えば  $M(a_0, b), M(a_0, c), M(b, a)$  に orientation が矢印のこゝとつけは、  $M(c, a)$  の orientation は上の絵のようにな

らなければとらなれ、これから  $22=0$  がわかる。

### 3. あとがき

なにはともあれ くだいた。 Sobaker 空間 や 完備化の二と  
等 解析の人 だけか 教えて くれませんか。

(R3.1)



# 修士論文・博士論文速報

## 修士論文

北海道大学

石崎 若

Reeb stability theorem の nonstandard analysis の応用

compact leaf, 及び余次元 1 葉層構造の proper leaf に関する Reeb の安定性定理の nonstandard analysis を用いた証明についてまとめた。

compact leaf に関する Reeb の定理、及び proper leaf に関する稲葉の定理は、共に leaf 上の path の無限小近傍の持ちこたえを用いて証明できる。

又、Thurston による Reeb の定理の一般化や、Dippolito の proper leaf の安定性定理も nonstandard analysis を用いて証明できる。  
(R2.23)

金山 俊哉

横断的 PL 葉層における局所極小集合の存在定理

$M$  を  $n$  次元  $C^0$  閉多様体、 $\mathcal{F}$  を  $M$  上の横断的に向き付け可能な余次元 1 の  $C^1$  葉層構造 ( $0 \leq l \leq n$ )、 $\mathcal{L}$  を  $M$  上の余次元  $(n-1)$  の  $C^0$  葉層構造で  $\mathcal{F}$  に横断的、 $V$  を  $M$  の連結閉部分集合で  $\mathcal{F}$ -sat,  $\hat{V}$  を  $V$  の Dippolito の完備化とする。

葉層構造における定性論では LMS の存在定理はよく知られた結果であるが、この定理は  $\mathcal{F}$  が  $C^2$  級  $\square$  という条件が必要である。修論ではこの条件を  $\mathcal{F}$  が横断的 PL 葉層  $\square$  におきかえても LMS の存在定理は成り立ちかという問題を考えた。このとき Sachsteder の補題は成り立たないのと同じ analogy ではうまくいかなかった。しかし、一般化された Kopell の補題の PL-permuter pseudo group 版は証明できる。これを使、 $\hat{V}$  の枝腕分解で各腕が横葉層になるものがとれる。これにより LMS の存在定理の横断的 PL 葉層版を証明することができた。  
(R2.23)



原田 信

いくつかのfoliationにおけるsecondary classの消滅

foliation とくに multi-foliation と呼ばれるものの secondary classes を計算し、そのいくつか、(あるいは全て)が消えていることを示した。

対象としたものは、次の2つである。ひとつは、余次元  $r$  の foliation  $\mathcal{F}$  において、 $r$  個の余次元 1 foliation  $\mathcal{F}_1, \dots, \mathcal{F}_r$  があり、その tangent bundle において、

$$T\mathcal{F} = T\mathcal{F}_1 \cap \dots \cap T\mathcal{F}_r$$

をみたすものについて、もう一つは、type  $(r, r-1, \dots, 2, 1)$  の flag structure  $F = (F_1, \dots, F_r)$  で、各  $F_i$  の normal bundle  $TM/F_i$  が全て trivial であるときの、 $F_i$  の定める foliation について、である。

前者においては、全ての class が消えているのが示されたが、後者では、そのいくつかは消えているのが、全てが消えているかどうかは不明

(R2.23)

### 三寺芳樹

#### 複素解析的多様体上の

#### 特異点を持つ葉層構造の構造について

複素解析的多様体  $M$  上の正則 1 次微分形式の芽から成る層  $\Omega$  の既約かつ積分可能である連接複素解析的部分層  $\xi$  を  $M$  上の葉層構造と言う。ここで「既約である」とは  $\xi$  と  $\xi$  から 2 回 annihilator をとったものが等しいことを、又「積分可能である」とは  $\xi$  の各茎が bracket 作用素で閉じていることを意味する。 $\xi$  の annihilator を  $\xi^0$  とし、各  $x \in M$  に対して  $T_x(\xi) = \{ \sigma(x) \in T_x M \mid \sigma \in \xi_x^0 \}$  とすると、これは  $T_x M$  の部分ベクトル空間になる。一般に  $T_x(\xi)$  の次元は一定ではなく、その最大次元を  $r$  としたとき次元が  $r-1$  以下になる  $x \in M$  を  $\xi$  の特異点とする。更に  $k = 1, \dots, r$  に対して  $S^{(k)} = \{ x \in M \mid \dim_x T_x(\xi) \leq r-k \}$  とする。そこで  $S^{(k)}$  の構造に関して次の結果を得た。

定理 任意の  $k = 1, \dots, r$ , 任意の  $P \in S^{(k)}$  に対して、 $M$  における  $P$  の近傍  $U_P$ 、 $\mathbb{C}^{n-r+k}$  における原点の近傍  $W$ 、 $U_P$  から  $W$  への  $\pi$  の正則な押し込み  $f$ 、 $W$  上の葉層構造  $\mathcal{T}$  をそれぞれ適当にとり

$\xi_x = \langle \{ f^* \omega \in \Omega_x \mid \omega \in \mathcal{T}(f(x)) \} \rangle_{\mathcal{O}_x}$  for  $\forall x \in U_P$   
とできる。

(R2.25)

## 山形大学

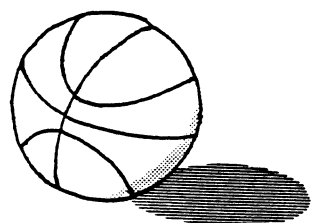
柴田 浩一

単連結な 4 次元閉多様体上の  $SL(3, \mathbb{R})$  作用について

この論文の目標は連結、単連結、コンパクトな 4 次元多様体上の  $SL(3, \mathbb{R})$  作用と分類することである。

(以下 4 次元多様体といふたら連結、単連結、コンパクトなものとする。)  $SL(3, \mathbb{R})$  は非コンパクト群であるから使える手法は限られているが  $SL(3, \mathbb{R})$  の極大コンパクト群である  $SO(3)$  が作用する 4 次元多様体と調べることは大切である。この論文で用いる主な手法は 4 次元多様体上の  $SO(3)$  作用の分類ができていたのでそれを用いる。まず分類された 4 次元多様体上の  $SO(3)$  作用を  $SL(3, \mathbb{R})$  作用に拡張できるかどうか調べる。拡張できる場合にはそれを  $SL(3, \mathbb{R})$  同変同型は同じものとして分類することになる。

(R2.10)



茨城大学

宮川 均

Minimal foliation に対する calibrated geometry を用いた  
1つの考察

本論文は, calibrated geometry の foliation への応用に関する総合報告であって, Harvey と Lawson の 2つの論文 (Acta Math, 148(1982), 47-157.; Amer. J. Math., 104(1982), 607-633.) を中心にまとめたものである。まず, Riemann 多様体  $X$  上に calibration の定義を与えて calibrated geometry の基礎的な考察を行い,  $X$  の foliation に calibration を定義する。そして, foliation に, minimality より条件のきつい geometrically tightness の概念, および homologically tightness の概念を導入し, calibration を用いてこれらの間の関係について論じ, 例として fibre bundle 上の foliation, および contact foliation の tightness について論じる。最後に, ある条件のもとで foliation が minimal になる事と geometrically tight になる事とが同値になる事を calibration の概念を通じて導き出す。

(R2.23)

千葉大学

後藤 亨

Harmonic foliations on a complex projective space

中川久雄 - 高木亮 - の両先生は, 昨年次の結果を証明された。

定理  $M$  を compact 非負定曲率 Riemann 多様体、 $\mathcal{F}$  をその上の harmonic foliation とする。そのとき、もし、normal plane field  $\mathcal{F}^\perp$  が minimal ならば、 $\mathcal{F}$  は、totally geodesic である。

さて、この修士論文では上の定理が、

$$M = \text{“複素射影空間”}$$

の場合にもそのまま成り立つことを証明する。 (R2.4)

木村 仁美

$C^\infty$ -関数のジェットの  $C^\infty$ -sufficiency について

$C^\infty$ -関数の分類については、Kuo-Bochnak-Lojasiewicz によって  $C^\infty$ -sufficiency と  $V$ -sufficiency の同値性が示されているが、 $C^\infty$ -sufficient な関数の集合を特徴づけることは容易ではない。本論文では、その方向の部分的結果として次のことを示した。

$$J^r(n, 1) = \{ r\text{-jets の集合} \}$$

$$S = \{ C^\infty\text{-sufficient でない } r\text{-jets の集合} \}$$

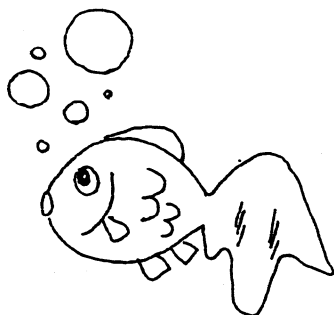
とするとき、

$$S \subset W \subset J^r(n, 1),$$

$$\dim S < \dim W < \dim J^r(n, 1)$$

を満す closed semi-algebraic set  $W$  の存在を示し、その若干の応用を与えた。

(R2.15)



東京大学

今野 宏

Chem character of localization formula について

$X$  を 2 次元 compact oriented manifold とする。  $\xi^0, \xi^1$  を  $X$  上の rank の等しい vector 束で、  $\nabla^0, \nabla^1$  を その上の connection とする。  $U$  を  $\text{Hom}(\xi^0, \xi^1)$  の section とする。  $U_x: \xi_x^0 \rightarrow \xi_x^1$  ( $x \in X$ ) が 同型とならなない点の集合が、互いに交わらない compact な submanifold  $M_i$  ( $i=1, \dots, n$ ) からなるとする。このとき、

$$\int_X \text{ch}(\xi^0) - \text{ch}(\xi^1) = \sum_{i=1}^n \left(\frac{1}{2\pi}\right)^2 \int_{V_i} \text{tr}_s e^{R^{(i)}}$$

が成り立つ。但し、  $\pi_i: V_i \rightarrow M_i$  を  $M_i$  の normal 束とする。  $\xi = \xi^0 \oplus \xi^1$  の  $M_i$  への制限を  $\pi_i$  により  $V_i$  上に引き戻したものを  $E_i = E_i^0 \oplus E_i^1$  とし、その上の connection を  $\nabla^{(i)}$  とする。  $\tilde{U}_i$  という  $\text{Hom}(E_i^0, E_i^1)$  の section を、  $M_i$  の管状近傍における  $U$  のふるまひにより適当に定める。  $D^{(i)} = \nabla^{(i)} + \Pi \begin{pmatrix} 0 & \tilde{U}_i \\ \tilde{U}_i^* & 0 \end{pmatrix}$  とすると、  $D^{(i)}$  は  $E_i$  上の superconnection となる。  $R^{(i)}$  を  $D^{(i)}$  の curvature とし、  $\text{tr}_s$  を supertrace とする。

(R2.23)

河澄 響夫

1. Folding Surface Bundles of Genus 2

種数 2 の Riemann 面には標準的に超楕円結合というものが固定集をもつ結合があり、その商空間は Riemann 球面となることが知られている。この論文では任意の oriented  $C^\infty$   $\Sigma_2$  束に fiber を保つ結合を、その固定集集合が各 fiber とお互いに横断的に交わり、fiber を保つ isotopy を除いて一意に定まることを示した。証明には小平、Spencer の楕円型作用素の変形についての定理を用いた。その応用として  $\text{Diff}_0 \Sigma_2$  の弱可縮性 (Earle-Eells は  $\text{Diff}_0 \Sigma_g$  ( $g \geq 2$ ) の可縮性を示している。) 及 W. Meyer の定理: 閉 oriented 多様体上の  $C^\infty$  oriented  $\Sigma_2$  束の全空間の signature = 0 の簡単な別証を与えた。これは Kas (Amer. J. of Math. 90 (1968)) の一一定理の位相幾何への翻案である。

2.  $S^2$  の基底を  $\tau$  の mapping class group の cohomology と  $\mathbb{P}^1$  上の  $n$  点集合の moduli の homotopy 型に  $\tau$  して

前半は Arnold の 平面 braid 群の cohomology の計算の方法及び結果を用いて

$$H^*(\pi_0 \text{Homeo}^+(S^2, n \text{ 点集合} \rightarrow \text{集合} \rightarrow \mathbb{P}^1); \mathbb{C}) \cong H^*(pt; \mathbb{C})$$

を示したものである。要旨は次の 2 つである。

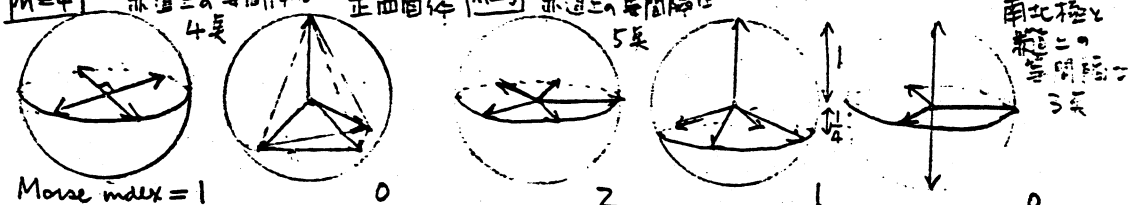
①  $S^2$  の  $n$  点の配置の空間 (平面の場合と違  $K(\pi, 1)$  ではない) の homotopy 群を一次分数変換の群  $PSL(2, \mathbb{C})$  で割って消す。

②  $H^*(\pi_0 \text{Homeo}^+(S^2, n \text{ 点集合} \rightarrow \text{集合} \rightarrow \mathbb{P}^1)) \wedge \mathbb{C}$  の対称群  $\mathcal{S}_n$  の作用をみる。計算したあと  $n=6$  の場合 Lee-Weintraub が 1985 年の "Topology" に同様の方法を計算して示したことを知ったが、彼らの方法だけだと一般の  $n$  に対し ② を実行するのは非常に困難なので、修論にした。

後半は  $S^2$  上の  $n$  点の配置の空間  $P_n = (S^2)^n - \{z_i = z_j, z_i = \bar{z}_j\}$  の各点を、距離に反比例する斥力を互いに及ぼしあう「電荷」の配置と考へ、その「energy」を考へたものである。

ここでは  $n=4, 5$  のときその一例の配置が以下に示したものに限定されることを示し、 $n=4, 5$  のとき「energy」が

回転群  $SO(3)$  の方向を  $\tau$  する Morse 函数と考へたことを示した。



を用として  $\mathbb{P}^1$  上の  $n$  点集合の moduli  $P_n/PSL(2, \mathbb{C})/\mathcal{S}_n$  の可縮性を示した。尚、 $P_4/PSL(2, \mathbb{C})/\mathcal{S}_4 = \mathbb{C}$  は  $\tau$  を  $\mathbb{C}$  に分る。又、超楕円対称と通じて  $P_6/PSL(2, \mathbb{C})/\mathcal{S}_6$  は種数 2 の Riemann 面の moduli となるが、これは井草に  $\mathbb{P}^3/\mathbb{Z}_5$  (作用は線型) と考へ、(特に可縮である) と代数幾何的に示してある。

(R2.25)

高倉 樹

Seifert fibered homology 3-sphere の  
基本群の表現空間における Morse theory

Homology 3-sphere  $\Sigma$  の研究において、

$$R(\Sigma) = \text{Hom}(\pi_1(\Sigma), \text{SU}(2)) / \text{SU}(2)$$

量子空間は重要であり、特に Casson's invariant  $\lambda(\Sigma)$  や instanton homology (Floer homology)  $I_*(\Sigma)$  の定義に関与する。本論文では、 $\Sigma = \Sigma(a_1, \dots, a_n)$  ; Seifert fibered homology 3-sphere の場合を扱う。この場合について、R. Fintushel と R. Stern の論文 (Instanton Homology of Seifert fibered Homology Three Sphere, preprint, 以下 [F-S] と略記) により、 $I_*(\Sigma)$  の計算法がかなり具体化されており、その際、 $R(\Sigma)$  上の Morse function が重要な役割を果たす。

さて、今の場合、 $R(\Sigma)$  は closed manifold であり、 $0, 2, \dots, 2n-6$  次元の連結成分をもつ ([F-S])。本論文の主な結果は次である。

Theorem.  $R(\Sigma)$  (の各連結成分) 上に、次をみたす Morse function が存在する: 各 critical point における index はすべて偶数。

この内容は [F-S] において Conjecture として述べられていたもので、[F-S] の結果とあわせると次が得られる。

Corollary  $\forall \Sigma = \Sigma(a_1, \dots, a_n)$ ; as above に對し  $I_*(\Sigma)$  は torsion free, かつ  $I_{\text{odd}}(\Sigma) = 0$ .

(R2.25)

# 東京工業大学

宮本 洋介

## Degeneration of hyperbolic truncated tetrahedra and its volume and surface area

hyperbolic truncated tetrahedra は双曲的多面体の一種で、6角形の面4個と、3角形の面4個を持っている。全測地的境界を持つ任意の双曲的3次元多様体は、いくつかの truncated tetrahedra の6角形の面を貼り合わせることによって構成することができる。このとき多様体の境界は3角形の面で構成される。一方、一般的に全測地的境界を持つ双曲的3次元多様体  $M$  に関して、 $Vol(M) \geq \text{const} \cdot \sqrt{Area(\partial M)}$  という関係がある。したがって、このような多様体の一部分としての truncated tetrahedra の体積と、多様体の境界の一部である3角形の面の面積は、この関係を反映するかどうかが問題である。

本論文ではこの問題に対し、もし上記の關係に反して、truncated tetrahedra が3角形の面の面積を正に保ちながら、体積が0へ収束するように degenerate するならば、その degeneration は2つのタイプに限定されることを示した。また、そのおのおののタイプに、実際にそのように degenerate する例が存在することを、十分条件を与えることによって示した。

(R2.23)

# 早稲田大学

大串 康子

## 結び目の triviality index について

以下のような定義をする。

定義1.  $K \in \text{Knot}$ ,  $\tilde{K} \in K$  の diagram,  $A_1, \dots, A_n \in \tilde{K}$  の空でない crossing の集合とする。以下の2つの条件を満足するとき  $\tilde{K}$  は  $\{A_1, \dots, A_n\}$  に関して  $n$ -trivial diagram であるという。

(1)  $A_i \cap A_j = \emptyset$  ( $i \neq j$ )

(2)  $\{A_1, \dots, A_n\}$  の任意の空でない部分集合の crossing を cross change すると trivial knot diagram が得られる。

定義2.  $K$  が  $n$ -trivial diagram を持ち、 $(n+1)$ -trivial diagram を持たないとき  $\tau \in O(K)$  を表す。この  $O(K) \in K$  の triviality index という。

次の定理を証明した。

定理. 1より大きい任意の自然数  $n \geq 1$  を与えると、

$O(K) = n$  であるような nontrivial knot  $K$  は無限個存在する。

(R2.25)

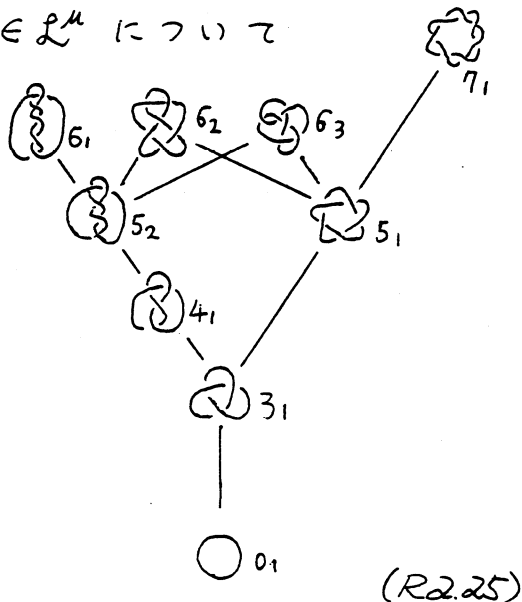


谷山公規

結び目の半順序

$\mathcal{L}^\mu$  を  $\mathcal{S}^3$  内の  $\mu$ -成分絡み目全体とする。  $L \in \mathcal{L}^\mu$  に対し、 $\text{PROJ}(L)$  で、 $L$  が  $\mathcal{S}^2$  ( $\subset \mathcal{S}^3$ ) 上にとりうる正則射影図全体の集合を表す。ただし射影図は、2重点における上下の情報は持たないものとする。  $L_1, L_2 \in \mathcal{L}^\mu$  について  $L_1 \leq L_2 \iff \text{PROJ}(L_1) \supseteq \text{PROJ}(L_2)$

と定義する。  $(\mathcal{L}^\mu, \leq)$  は、pre-ordered set となる。この定義のもとで、 $(\mathcal{L}^1, \leq)$  と  $(\mathcal{L}^2, \leq)$  の順序が、6交点まで決定できた。右図は、素な結び目についての Hasse 図の一部である。さらに、 $\mu \geq 2$  について、 $(\mathcal{L}^\mu, \leq)$  に昇鎖が存在することが証明できた。



(R2.25)

金沢大学

平井喜之

Representing homology classes of connected sums of 2-sphere bundles over  $S^2$

$S^2$  上の  $S^2$ -バンドルの diffeomorphism class は、 $S^2 \times S^2$ ,  $\mathbb{C}P^2 \# \overline{\mathbb{C}P}^2$  の 2 つである。それぞれの連結和における 2次元ホモロジー群の元の smoothly embedded  $S^2$  による実現可能性を考える。  $S^2 \times S^2$ ,  $\mathbb{C}P^2 \# \overline{\mathbb{C}P}^2$  については久我, Lawson によってこの問題の必要十分条件が得られた。私は、 $2(S^2 \times S^2)$ ,  $3(S^2 \times S^2)$ ,  $2(\mathbb{C}P^2 \# \overline{\mathbb{C}P}^2)$ ,  $3(\mathbb{C}P^2 \# \overline{\mathbb{C}P}^2)$  の場合について、次のような結果を得た。

Theorem 1.  $Y \in H_2(M(S^2 \times S^2))$  ( $m=1,2$ ) が, smoothly embedded  $S^2$  で表わせた  $\Leftrightarrow Y$  は primitive or  $Y^2=0$

Theorem 2.  $Y \in H_2(2(\mathbb{C}P^2 * \overline{\mathbb{C}P^2}))$  が smoothly embedded  $S^2$  で表わせたための必要十分条件は,  $Y$  が次の条件の一つを満たすことである.

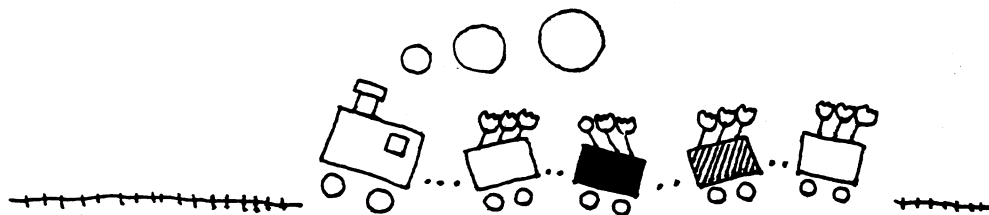
- ①  $Y$  は characteristic and  $Y^2=0$
- ②  $Y$  は ordinary and primitive
- ③  $Y$  は ordinary and  $Y^2=0$
- ④  $Y=2\gamma$  ( $\gamma$  は  $\gamma^2=\pm 1, \pm 2$  なる primitive ordinary class)
- ⑤  $Y=3\gamma$  ( $\gamma$  は  $\gamma^2=\pm 1$  なる primitive ordinary class)

Theorem 3.  $Y \in H_2(3(\mathbb{C}P^2 * \overline{\mathbb{C}P^2}))$  を ordinary class とする.  $Y$  が smoothly embedded  $S^2$  で表わせたための必要十分条件は,  $Y$  が次の条件の一つを満たすことである.

- ①  $Y$  は primitive
- ②  $Y^2=0$
- ③  $Y=2\gamma$  ( $\gamma$  は  $\gamma^2=\pm 1, \pm 2, \pm 3$  なる primitive ordinary class)
- ④  $Y=3\gamma$  ( $\gamma$  は  $\gamma^2=\pm 1$  なる primitive ordinary class)

$S^2 \times S^2$ ,  $\mathbb{C}P^2 * \overline{\mathbb{C}P^2}$  の場合の証明は Donaldson の定理が本質的であつたが, Theorem 1 の証明は Donaldson の定理に依らずに証明できる. また, ordinary の場合に限れば,  $4(\mathbb{C}P^2 * \overline{\mathbb{C}P^2})$ ,  $5(\mathbb{C}P^2 * \overline{\mathbb{C}P^2})$  の場合の必要十分条件がわかる. また characteristic の場合も 99% の場合に, 部分解が得られる.

(R2.20)



# 信州大学

池沢 健夫

## トポロジー - 球面への群作用

有限次元、有限軌道型、 $G$ -CW複体  $X$  に対し、 $G$  を階数  $n$  の  $P$ -torus とすれば、Borel cohomology に関する localization Theorem,  $S^{-1}H_G^*(X) \cong S^{-1}H_G^*(X/G)$  が成り立つ。(ここで  $S$  は  $H^*(BG)$  のある multiplicative closed set) この定理を用いて、Smith の定理を証明した。また、その応用として  $SU(2)$  ( $SO(3)$ ) が自由に作用する  $S^m$  ( $\mathbb{R}P^m$ ) は、 $m \equiv 3 \pmod{4}$  の場合に限ることを示した。なお、本文は、T. tom Dieck, Transformation groups, Walter de Gruyter の中の一つのテーマに関する総合報告である。

(R2.20)

# 名古屋大学

小谷 健司 (おだにけんじ)

## 閉曲面上の流れの非自明回帰軌道について

閉曲面  $M$  とその上の continuous flow  $\phi$  を考え、 $\phi$  の orientable (resp. non-) nontrivial recurrent orbit の (本質的な) 個数  $NR^+(M, \phi)$  (resp.  $NR^-$ ) を定義する。主定理はそれらを  $M$  の genus で評価する評価式である。この定理は Markley と Gutierrez の結果の拡張になっているだけでなく、それらの別証明をも与えている。またこの定理がある意味において最良の結果であることも述べている。また 3 次元多様体においては、 $NR^+(M, \phi)$  が連続濃度になり得ることについても言及している。

(これらの結果は去年の秋期学会等で発表済み)。

(R2.23)

上林 達

Symplectic 多様体の符号定理について

(R2.25)

中村 元

Ricci 曲率正の直径球面定理に向けて

リッチ曲率と直径が球面に近ければ球面に位相同型

(R2.25)

京都大学

玉木 大

コホモロジーが外積代数になる CW-複体の安定レトラクションについて

CW-複体  $X$  について、次の条件を考える。

i)  $X = S^{\alpha_1} \cup e^{\alpha_2} \cup e^{\alpha_1 + \alpha_2}$

ii)  $H^*(X; \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}) \cong \Lambda(U_{\alpha_1}, U_{\alpha_2})$ ,  $\deg U_{\alpha_i} = \alpha_i$ ,  $i=1, 2$

かつ、 $S_2^{\alpha_2 - \alpha_1} U_{\alpha_1} = U_{\alpha_2}$

iii) 部分複体  $S^{\alpha_1} \cup e^{\alpha_2}$  は、 $X$  の安定レトラクション  
この時、次のことがわかる。

定理 上の i) ~ iii) の条件をみたす CW-複体が存在するための必要十分条件は、

$$\alpha_2 - \alpha_1 = 2^t, \quad \alpha_1 \equiv -1 \pmod{2^{t+1}}, \quad t = 0, 1, 2, \dots, \alpha_1 \neq 3$$

$H^*(E_6/F_4; \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}) \cong \Lambda(\alpha_9, \alpha_{17})$ ,  $S_2^2 \alpha_9 = \alpha_{17}$  より次を得る。

系  $E_6/F_4$  は、17-スケルトンに安定レトラクトしない。  
よって、 $E_6/F_4$  の接束は、安定自明ではない。 (R2.25)

田辺理正

On the non triviality of the Greek letter elements  
in the Adams-Novikov  $E_2$ -term

球面の安定ホモトピー群の  $p$  成分 ( $p$ : 素数) に収束する Adams-Novikov スペクトル列の  $E_2$  項  $E_2^{a,b} = \text{Ext}_{BP_*(BP)}^{a,b}(BP_*, BP_*)$  (ここで  $BP$  は  $p$  における Brown-Peterson スペクトラム) には各自然数  $n, t$  に対してギリシャ文字元  $\alpha_*^{(n)} \in E_2^{n, b(t)}$  (ここで  $b(t) = 2(tp^n - pn - \dots - p + n - t - 1)$ ) を定義することができる。  $n \leq 3$  の時はこれらの元の非自明性に関する結果は既に知られているが、  $n \geq 4$  の場合も次の結果を示すことができる。

定理  $p \geq n \geq 4$  かつ  $1 \leq t \leq p-1$  なる  $\alpha_*^{(n)} \neq 0$  で、さらにこれらの元は  $p$  で割れない。  
(R2.25)

辻井 正人

双曲型の測度のエルゴード分解

$f: M \rightarrow M$  を  $C^\infty$  多様体  $M$  の微分同相とし、  $\mu$  を  $f$  で不変であるような確率測度で双曲型、すなわち Lyapunov exponent が a.e.  $\neq 0$  であるものとする。  $\mu$  がさらに次のような条件 (\*) をみたすとき、  $\mu$  は可算個の ergodic な部分に分解されることを示した。

(\*)  $\mu(X) > 0$  ならば  $W^s(x)$  は正の Riemannian volume を持つ。

ここで

$$W^s(\infty) = \{y \in M \mid \exists x \in X \limsup_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \log d(f^n x, f^n y) < 0\}$$

(R3.1)



MI-DO-SHI !!!

中尾正広

Spatial  $\theta$ -curves の  $\mathbb{Z}_2 \oplus \mathbb{Z}_2$  Branched Coverings

$\theta$ -curve (2 個の頂点を 3 本の辺で結ぶグラフ) を  $S^3$  に埋め込むと,  $\theta$ -curve に含まれるサイクルは knot と考えられる。これを  $\theta$ -curve の constituent knot といい, 実際  $\theta$ -curve は 3 つの constituent knots を持つ。

本論文では,  $S^3$  に埋め込まれた  $\theta$ -curve についてその  $\mathbb{Z}_2 \oplus \mathbb{Z}_2$  branched covering  $\bar{M}(\theta)$  と 3 つの constituent knots  $k_1, k_2, k_3$  の 2-fold branched coverings  $\bar{M}_2(k_1), \bar{M}_2(k_2), \bar{M}_2(k_3)$  との関係を探り, 次の結果を得た。

一般に

$$H_1(\bar{M}(\theta); \mathbb{Z}) = H_1(\bar{M}_2(k_1); \mathbb{Z}) \oplus H_1(\bar{M}_2(k_2); \mathbb{Z}) \oplus H_1(\bar{M}_2(k_3); \mathbb{Z})$$

が成立する。しかし,

$$\pi_1(\bar{M}(\theta)) = \pi_1(\bar{M}_2(k_1)) * \pi_1(\bar{M}_2(k_2)) * \pi_1(\bar{M}_2(k_3))$$

は必ずしも成立しない。

(R2.17)

山田 ルミ

Trivial Knot の Symmetric Union と

Lickorish-Millett 多項式

近年, Lickorish と Millett によって, oriented link に対する 2 変数の多項式 (Lickorish-Millett 多項式) が link type の invariant として定義された。

本論文では, S. Kinoshita と H. Terasaka によって導入された knot の symmetric union の概念に基づき, 特に trivial knot の symmetric union (この Alexander 多項式が 1 であることはすでに証明されているが) に焦点を当ててその Lickorish-Millett 多項式の計算を行った。そして多項式の持つ基本的な性質を考察することにより, このような symmetric union の chirality を調べ, knot type の分類を行った。

神戸大学

内田 吉昭

### Universal knot と link について

3次元球面内の knot (link)  $K$  が universal とはすべし  $S^3$  の closed, orientable, 3-manifold が,  $K$  上分岐する  $S^3$  の分岐被覆空間として得られることである。

Hilden 達により 2-bridge knot に対して universal となるための必要十分条件がみつかった。また 2-bridge knot のあるクラスの 2つの connected sum が universal となるものを見つけた。そこで, 2-bridge knot の 2つの connected sum が universal となるもののクラスを拡張した。そして, ある条件をもちいた pretzel knot が universal となる事を示した。そして  $p(-b; 2, 2, \dots, 2)$  の形の pretzel link に対して universal となるための必要十分条件を導き出した。 (R2.17)

岡山大学

尾崎保之

### 球面上の $G$ -構造について

$G_m$  で  $SO(m), SU(m), SP(m)$  を表わす。次の主  $G_m$ -バンドル  $G_m \rightarrow G_{m+1} \rightarrow G_{m+1}/G_m \dots (*) (G_{m+1}/G_m \approx S^{d(m+1)-1} \quad d=1, 2, 4)$  が,  $G_m$  の連結閉部分群(以下単に部分群と表わす)  $H$  に構造群の簡約(以下, 単に簡約と表わす)をもつかうかを考える。  $H$  が  $G_{m-k}$  のときは, J. F. Adams, G. Walker, F. Sigrist, U. Suter により Stiefel 多様体の切断問題として, 解かれた。  $H$  が, 一般の場合, P. Leonard が,  $G_m = SO(m)$  で  $m$  が偶数のとき  $m=6$  で  $SU(3), U(3)$  に簡約を持つ以外, また  $G_m = SU(m)$  で  $m$  が偶数のとき,  $G_m = SP(m)$  で  $m \neq 11(12)$  のとき,  $G_m$  の部分群に簡約をもたないことを証明した。 -36-

修士論文では、P. Leonhard の方法を利用し、次の結果を得た。ただし、 $b_k, c_k$  は James 数とする。

(i)  $G_m = SO(m)$  の場合。  $m \equiv 2^\alpha - 1 (2^{\alpha+1})$  と表わすことにする。

- $\alpha = 1$  の場合、 $SO(m-1), SU(\frac{m-1}{2}), U(\frac{m-1}{2})$  に簡約をもち、 $m \neq 9, 17$  のとき、 $SO(m-1)$  の他の部分群に簡約をもたない。
- $\alpha = 2$  の場合、 $SO(m-3), SU(\frac{m-3}{2}), U(\frac{m-3}{2}), SP(\frac{m-3}{4}), SP(\frac{m-3}{4}) \times_{\mathbb{Z}_2} U(1), SP(\frac{m-3}{4}) \times_{\mathbb{Z}_2} SP(1)$  に簡約をもち、 $m \neq 11, 19$  のとき  $SO(m-3)$  の他の部分群に簡約をもたない。
- $\alpha \geq 3, \alpha \equiv 0 (4)$  の場合、 $SO(m-2\alpha)$  に簡約をもち、 $m \neq 15$  のとき、 $SO(m-2\alpha)$  の部分群に簡約をもたない。
- $\alpha \geq 3, \alpha \equiv 1, 2, 3 (4)$  も同様の議論ができる。

(ii)  $G_m = SU(m)$  の場合。  $b_{2k} | m+1$  かつ  $b_{2k+1} \nmid m+1 (k \geq 2)$  のとき、

$2b_{2k} | m+1$  かつ  $k \in \{s+t \cdot 2^{2^s-1} \mid s, t \in \mathbb{N} \text{ 自然数}\}$  ならば、

$SU(m+1-2k), SP(\frac{m+1-2k}{2})$  に簡約をもち、 $SU(m+1-2k)$  の他の部分群に簡約をもたない。

(iii)  $G_m = SP(m)$  の場合。  $c_k | m+1$  かつ  $c_{k+1} \nmid m+1 (k \geq 1)$  のとき、

$SP(m+1-k)$  に簡約をもち、 $SP(m+1-k)$  の部分群に簡約をもたない。

(R2.25)

## 広島大学

市川 浩貴

Stiefel-Whitney 類による Wu 類の表示におけるいくつかの単項式

安定ベクトル束の分類空間  $BO$  のコホモロジー環  $H^*(BO; \mathbb{Z}_2)$  は多項式環  $\mathbb{Z}_2[w_1, w_2, w_3, \dots]$  である。ただし、 $w_i$  は  $i$  次普遍 Stiefel-Whitney 類である。普遍 Wu 類は帰納的に  $w_0 = w_0 = 1, v_i = w_i + \sum_{k=1}^i Sq^k v_{i-k} (i \geq 1)$  により定義されている。従って、Wu 類は Stiefel-Whitney 類の多項式として表示される。

この論文では、Wu 類における  $w_i^2, w_j w_1^k (i \geq 1, j \geq 2, k \geq 0)$  の形の単項式について調べ、次の結果を得た。

$H^{2^i}(BO; \mathbb{Z}_2) \ni A, B$  とする。  $A+B$  に単項式  $w_i^2$  が存在しないとき、 $A \sim B$  と定義する。また  $i \geq 1$  に対して、 $i = 2^{i_1} + 2^{i_2} + \dots + 2^{i_s} (i_1 > i_2 > \dots > i_s \geq 0)$  と表し、 $\sigma(i) = s$  と書く。



定理 1.

$$\begin{aligned} \sigma(i) = 1, 2 \text{ のとき, } & v_{2i} \sim w_i^2. \\ \sigma(i) \geq 3 \text{ のとき, } & v_{2i} \sim 0. \end{aligned}$$

$H^i(BO; \mathbb{Z}_2) \ni A, B$  とする.  $A+B$  において各  $2 \leq j \leq i$  に対する単項式  $w_j w_1^{i-j}$  が存在しないとき,  $A \approx B$  と定義する.

定理 2.

$$\begin{aligned} \sigma(i) = 1 \text{ のとき, } & v_i \approx \sum_{j=\frac{i}{2}+1}^i w_j w_1^{i-j}. \\ \sigma(i) = 2 \text{ のとき, } & v_i \approx \sum_{j=2^h+1}^{2^h} w_j w_1^{i-j}. \\ \sigma(i) \geq 3 \text{ のとき, } & v_i \approx 0. \end{aligned}$$

(R2.25)

高知大学

大野 英徳

### Borsuk-Ulam の定理の一般化

$S^{2n+1}$  を  $n+1$  次元複素数空間  $\mathbb{C}^{n+1}$  における単位球面とする. 任意の自然数  $g$  に対し, 連続写像  $T_g: S^{2n+1} \rightarrow S^{2n+1}$  を

$$T_g(z_0, z_1, \dots, z_n) = (e^{2\pi i/g} z_0, e^{2\pi i/g} z_1, \dots, e^{2\pi i/g} z_n) \quad (i=1, \dots, n)$$

によって定義する. この作用  $T_g$  による軌道空間  $S^{2n+1}/Z_g$  を  $L^n(g)$  で表し,  $\text{mod } g$  レンズ空間とよぶ.  $L^n(1)$  は  $S^{2n+1}$  自身にほかならない. 任意の自然数  $P, g, t$  に対し,  $T_{Pg}: S^{2n+1} \rightarrow S^{2n+1}$ ,  $T_{Pt}: S^{2m+1} \rightarrow S^{2m+1}$  はそれぞれ  $L^n(g)$ ,  $L^m(t)$  の不動点のない周期  $P$  の変換  $\bar{T}_P: L^n(g) \rightarrow L^n(g)$ ,  $\bar{T}_P: L^m(t) \rightarrow L^m(t)$  をひきおこす. 連続写像  $f: L^n(g) \rightarrow L^m(t)$  が  $Z_P$ -map といわれるのは,  $f\bar{T}_P = \bar{T}_P f$  が成り立つとき, しかもその時に限る. わいわいは Borsuk-Ulam の定理のある意味での一般化であるところの次の 3 つの結果を得た.

定理 1.  $P$  を任意の素数とし,  $g, t$  を  $P$  と素な整数とする.

$Z_P$ -map  $f: L^n(g) \rightarrow L^m(t)$  が存在すれば  $n \leq m$  である.

定理 2.  $P$  を任意の素数とし,  $g, t$  を  $P$  と素な整数とする.

$Z_P$ -map  $f: L^n(Pg) \rightarrow L^m(t)$  が存在すれば  $n \leq Pm$  である.

定理 3.  $P$  を任意の素数とし,  $g, t$  を  $P$  と素な整数とする.

$Z_P$ -map  $f: L^n(Pg) \rightarrow L^m(Pt)$  が存在するならば  $\lfloor \frac{n-1}{P} \rfloor \leq \lfloor \frac{m-1}{P} \rfloor$  である.

4元数球型空間形のJ群の元の位数とその応用

$H_m = \{x, y \mid x^{2^{m-1}} = y^2, x^2 x = y\} (m \geq 2)$  を一般4元群とし,  
 $N^m(m) = S^{4m-3}/H_m$  を4元数球型空間形とする。  $n \geq 0$  のとき,  
 自然な包含写像において  $N_{\mathbb{Z}^k}^m(m) = N^m(m)/N^{k-1}(m)$  を考える。

次に,  $\lambda$  を4元射影空間  $HP^n$  上の標準複素平面バンドルとし,  
 $\pi: N^m(m) \rightarrow HP^n$  を自然な射影,  $\gamma: \widehat{K}(N^m(m)) \rightarrow \widehat{KO}(N^m(m))$  を  
 real restriction とする。この時,  $\widehat{KO}(N^m(m))$  の元  $v$  を  $v = \gamma(\pi^* \alpha - 2)$  と定義する。  
 $J: \widehat{KO}(N^m(m)) \rightarrow \widehat{J}(N^m(m))$  をJ-準同型写像とする。  
 $J(v)$  の位数  $\#J(v)$  は,  $m \leq 3$  の場合には, 決定されている。おれおれは,  $m=4$  の場合の  $\#J(v)$  を決定した。

定理1.  $J(v) \in \widehat{J}(N^m(4))$  の位数は  $2^{2m+1+\varepsilon}$  である。ここで,  
 $n \equiv 0 \pmod{4}$  ならば,  $\varepsilon=1$ , 他の場合には  $\varepsilon=0$ 。

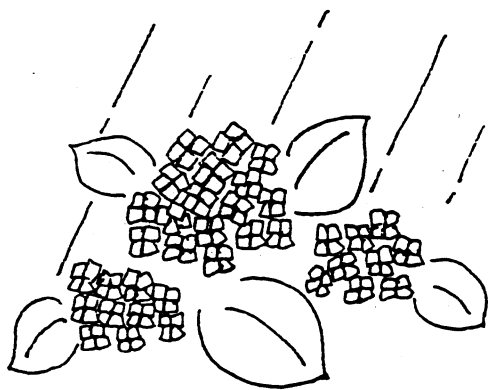
定理1の証明は  $\widehat{KO}(N^m(m))$  の加法構造 (K. Fujii) に依っている。

定理1と M.F. Atiyah-H. Ōshima の結果から, 次の応用を得る。

定理2.  $k \equiv j \pmod{2^{2m+1+\varepsilon}}$  ならば,  $N_{\mathbb{Z}^k}^m(m) \simeq N_{\mathbb{Z}^j}^m(m)$  は同じ S-type をもつ。ここで,  $n \equiv 0 \pmod{4}$  ならば,  $\varepsilon=1$ , 他の場合には  $\varepsilon=0$ 。

また,  $N_{\mathbb{Z}^k}^m(m)$  の S-dual の情報と定理1から, 別の結果も得られる。

(R2.15)

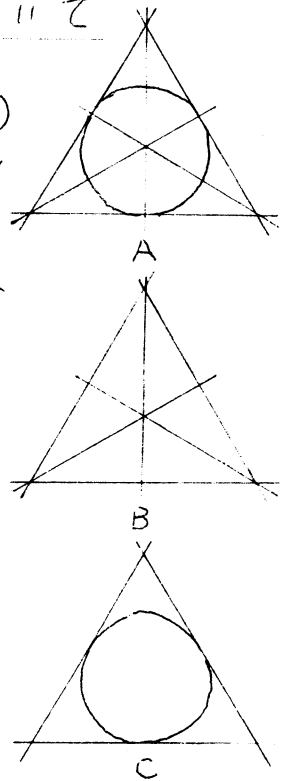


九州大学

山宮茂樹

$\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - \mathbb{P}^2(\mathbb{R}))$  の generators と relations について

複素射影平面  $\mathbb{P}^2(\mathbb{C})$  内の図形  $A$  ( $\mathbb{P}^2(\mathbb{R})$  と呼ぶ) に関して、 $\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - A)$  の generators と relations を求めた。  $A$  から二次曲線を除いた図形  $B$  に関する  $\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - B)$  と、  $A$  から三本の複素直線を除いた図形  $C$  に関する  $\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - C)$  は、良く知られている。ここで求めた  $\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - A)$  の relations は generators のあるもの達を  $\perp$  とすれば  $\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - B)$  や  $\pi_1(\mathbb{P}^2(\mathbb{C}) - C)$  の標準的な relations に一致する様な応用上、便利なものである。ちなみに、  $A$  の上で確定特異点を持つ階数 3 の線形偏微分方程式は近年、構成された。



(R2.18)



# 博士論文

金沢大学

奥村 善英

## Global real analytic coordinates for Teichmüller spaces

Riemann 面  $R$  は次の (1) と (2) を満たすとき、 $(g; n, \nu_1, \dots, \nu_n; m)$  型 (あるいは簡単に  $(g; n; m)$  型) であるといわれる。

(1) Riemann 面  $R$  は、genus  $g (\geq 0)$  の閉 Riemann 面から互いに素な  $m (\geq 0)$  個の closed conformal disks と  $n (\geq 0)$  個の点を除いたものと等角同値になる。

(2) 除かれる  $n$  個の点を  $p_1, p_2, \dots, p_n$  とする。このとき各  $p_j$  ( $j = 1, \dots, n$ ) に  $\nu_j \in \{2, 3, \dots, \infty\}$  が、 $\nu_1 \leq \nu_2 \leq \dots \leq \nu_n$  を満たすようにつけられている。

以下、 $R$  の普遍被覆面として単位円板  $D = \{z \in \mathbb{C} \mid |z| < 1\}$  がとれ、 $R$  の基本群が  $D$  に作用する Fuchs 群に対応するように、 $R$  の signature が  $2g + n + m \geq 3$ 、そして  $m = 0$  のときには、さらに、 $2g - 2 + \sum_{j=1}^n (1 - 1/\nu_j) > 0$  を満たしているものだけを考える。Riemann 面  $R$  に対する Teichmüller 空間  $T(R)$  (粗く言えば、 $R$  と同じ signature をもつ Riemann 面のある同値類の集合) は実解析多様体になり、実次元が  $6g - 6 + 2n + 3m (= d \text{ とおく})$  になっている。

この論文では  $T(R)$  の大域的実解析座標について研究する。このような座標は、Riemann (1857) 自身が  $(g; 0; 0)$  型の場合を考えたのが最初で、その後、Fricke, Klein, Teichmüller, Fenchel, Nielsen, Keen, Kra, Zieschang school, Sorvali, Seppälä, Wolpert 等の人々が取り組んでいる。 $T(R)$  の大域的実解析座標として、Riemann 面上の開測地線の長さだけからなるものがとれる。 $(g; 0; m)$  型については Keen (1971, 1977) により示され、 $(g; n; m)$  型については、Okumura (1985) により示された。ここで、彼等は各場合に  $9g - 9 + 3n + 4m$  個の座標で十分なことを示した。しかしこの数は一般には実次元よりも大きくなっている。最近、Wolpert はこの方法による  $(g; 0; 0)$  型の座標の最小個数が、いつでも実次元より大きくなることを述べた (未発表)。また、Seppälä and Sorvali (1988) はこの場合に、 $d + 2$  個の座標で十分であることを示し、そしてこの数が最小個数であると予想した。

当学位論文では、以上の結果の拡張である次の定理を与える。

定理 この方法による  $(g; n; m)$  型の座標の個数を以下のようにすることが出来る。

- (i)  $m \neq 0$  なら、 $d$  個、
- (ii)  $m = 0, n \neq 0$  なら、 $d + 1$  個、
- (iii)  $m = n = 0$  なら、 $d + 2$  個。

(iii) の証明方法は、Seppälä and Sorvali (1988) と全く異なる。この定理より、(i) のときの座標の最小個数が実次元に一致することが分る。

(R2.20)

名古屋大学

下村尚司

鎖成分から見た離散力学系の構造といくつかの応用

コンパクト距離空間  $(X, d)$  上の離散力学系  $(X, f)$  の鎖成分とは、任意に小さい  $\varepsilon > 0$  による  $\varepsilon$  鎖  $\gamma$  及び  $d(f(x_i), x_{i+1}) < \varepsilon$  により、互いに結ばれる  $X$  の部分集合を言う。これらは、Hausdorff metric により *totally disconnected* であり、各々の *totally disconnected abel 群* の *minimal な translation* への普遍的な商を考えることにより、POTP, 一意エルゴード性, トポロジカルエントロピー等の相互関係を考察した。

(R2.28)

大阪大学

山田修司

3次元空間内に埋め込まれたグラフの位相的不変量

$R^3$  内に埋め込まれたグラフ (1次元複体) を *spatial graph* という。spatial graph を平面上に表示したものをグラフの *diagram* という。diagram  $D$  に対し、一変数 Laurent 多項式  $R(D)$  を次のように再帰的に定義する。

$$R(\text{figure-eight}) = -(-A-1-A^{-1})^n,$$

$$R(D_1 \sqcup D_2) = R(D_1)R(D_2), \quad (\sqcup : \text{disjoint union})$$

$$R(\text{cross}) = AR(\text{left}) + A^{-1}R(\text{right}) + R(\text{X}),$$

$$R(\text{trivalent}) = R(\text{trivalent-cross}) + R(\text{trivalent-right}) + R(\text{trivalent-left}).$$

これは, spatial graph のある種の位相的不変量となる. この不変量により, 例えば次の3つの spatial graph はその埋め込みが位相的に異なることが判る.



(R2.23)

広島大学

関根 光弘

河内の第2双対定理と4次元球内の閉曲面

$M$  を連結コンパクト有向  $n$  次元多様体とし  $\tilde{M}$  を  $M$  の無限巡回被覆とする.  $p, q$  を  $p+q=n-2$  を満たす整数としたとき  $\Lambda$ -加群 (ただし  $\Lambda$  は整係数1変数ローラン多項式環)  $H_p(M)$ ,  $H_q(\tilde{M}, \tilde{M})$  の適当な有限部分加群上に  $\Lambda$ -イソメトリックな非特異双一次形式が定義される事が河内氏により示されていた. (Osaka J. Math (1986)) この論文に於いてさらには上の双一次形式が  $\tilde{M}$  の leaf  $V^{n-1}$  の linking pairing を制限したのから誘導されることを示し (定理2),  $M$  を有向4次元球  $S^4$  内に埋め込まれた有向閉曲面  $\Sigma_g$  の外部としたときに定理を適用し ( $n=4, p=q=1$ ), 既約な  $S^4$  内のトーラスがあってその補空間の  $\pi_1$  がある 2-knot の群とメリディアンを保存して同型であるもの (定理5) を構成した. またその為にはホモロジー加群  $H_*(\tilde{M})$  が満たすべきいくつかの代数的必要条件を示した.

(R2.25)

九州大学

四反田 義美

Abstract homotopy theory and homotopy theory of functor category.

シリンダー関手とパス関手をもつ圏を公理的に特徴づけて抽象ホモトピー論を定義した。この公理化には次のような著しい特徴がある。

- (1) ホモトピー圏とは双対原理を満足す。
- (2) 小圏  $\mathcal{C}$  からホモトピー圏  $\mathcal{H}$  の関手圏  $\mathcal{H}^{\mathcal{C}}$  と  $\mathcal{C}$  から構成されるコマ圏も又ホモトピー圏となる。

更に、誘導コファイブレーションのホモトピー的一貫性により D. Puppe の定理, J. H. C. Whitehead の貼り合せ定理等の基本的命題が統一的に導き出すことを示した。

上記の抽象ホモトピー論の一例として位相小圏から位相空間の圏  $\mathcal{H}$  の連続関手をつくる圏を研究し、この圏が自然に胸体構造をもつことを発見した。この圏でコホモロジー論、ポストニコフ塔を構成して、 $n$  組ホモトピー論同変ホモトピー論の一般化が可能なることを示した。

(R2.17)

岩瀬 則夫

非安定 Adams 型スペクトル系列において消失していくある項

この論文では、基本アーベル  $p$ -群  $V$  から  $Sp(1)$  の準同型のホモトピー類と、それらの分類空間  $BV$  から  $BSp(1)$  の間の基点を保つ写像のホモトピー類との対応関係を考察した。  $p=2$  の場合には、H. Miller によってこれらは写像空間としても弱ホモトピー同値であることが示され、その証明は、 $BV$  から空間  $Y$  の基点を保つ写像のホモトピー類とそれらのコホモロジー環の間の環準同型 (over Steenrod algebra) との対応関係から得られていた。

ここでは、単連結でない空間  $Y$  も同時に取り扱い、Bousfield Kan による非安定 Adams 型スペクトル系列に、一時的にしかその存在が許されない項を新たに付加して、その  $E_r$  項を計算することで、奇素数  $p$  に対しても、準同型ホモトピー類は分類空間の間の写像 ~~のホモトピー類と~~ 一対一に対応することを示した。  $Y$  が単連結のときは J. Lannes によって独立に、さらに一般的に、Miller 予想の解決として得られた結果がある。

(R2.28)

topology news topology news topology news topology news topology news topology news

追加分

東京工業大学

山本 真人

4次元閉多様体から平面への安定写像について

$M_4$  を単連結  $C^\infty$ -4多様体の中の次のような族とする

$M_4 = \{M^4 \mid \pi_1(M^4) = 1 \exists f: M^4 \rightarrow \mathbb{R}^2 \text{ 安定, regular な fibre は } S^2 \text{ か } T^2, \text{ quotient space } M^4/f \text{ が } D^2 \text{ と homeo}\}$

$M_4$  はかなり広い族で、むしろしたら全ての単連結4多様体と一致するかもしれないと予想される。

定理  $M \in M_4$  に対して簡単な安定写像を選ぶことができ  $M_4$  の中の Euler 数-定数の族に対して discriminant  $(f(M), f(S(f)))$  の diffe type は有限 この簡単な写像の特異点集合  $S(f) = \cup S^i$  (link) の連結成分の数について次の評価が成り立つ。

$$\# S(f) \leq \begin{cases} \frac{3}{2}e_2 + 1 & (e_2 = 2nd \text{ Betti } \# \text{ が even}) \\ \frac{3}{2}(e_2 + 1) & (e_2 \text{ が odd}) \end{cases}$$

命題 1  $M_4$  の中には exotic  $S^4$  は存在しない

命題 2  $M_4$  の中には exotic  $\mathbb{C}P^2$  は存在しない。

(R3.1)



藤井 道彦

### Hyperbolic 3-manifolds with totally geodesic boundary

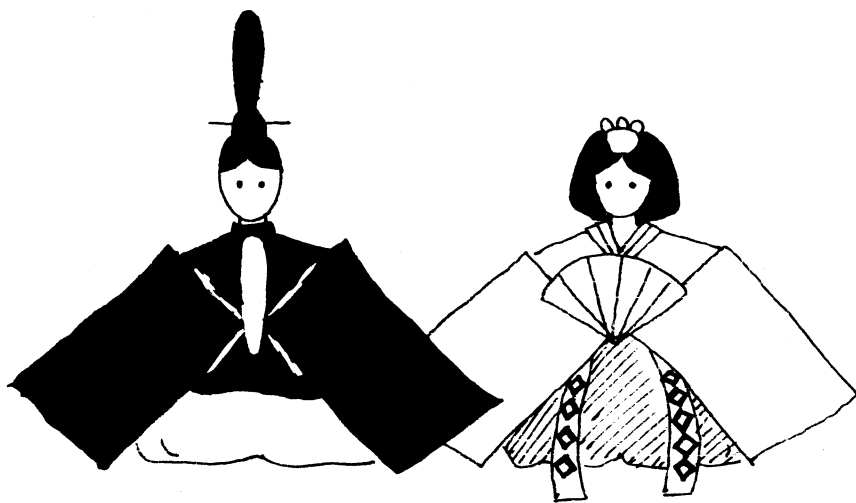
全測地的境界をもつコンパクトに向き付けられた双曲的3次元多様体(以後、単に双曲的3-多様体と呼ぶ)の境界となり得る、双曲的閉曲面のモジュライ全体は、リーマンモジュライ空間の中で稠密な部分集合であるとうと Thurston は主張している。そこで、そのような双曲的3-多様体を、truncated tetrahedron という3次元双曲空間内の測地的多面体の組み合わせで、実際に種々構成してやることにする。ここでは、次の結果を得た。

定理1 任意の2以上の整数  $n$  に対して、双曲的3-多様体の全測地的境界となり得る種数  $n$  の双曲的閉曲面が構成できる。

定理2 種数  $n$  の双曲的閉曲面を全測地的境界として持つ双曲的3-多様体の等長類は無数個存在する。

定理3 2個の truncated tetrahedra による分解をもつ双曲的3-多様体の等長類は  $n$  度  $8$  種類存在する。

(R2.1)



## トポロジー・シンポジウムのお知らせ

1989年度トポロジー・シンポジウムを下記の様に行います。

日時：1989年7月19日（水）～7月22日（土）

場所：福島大学教育学部

交通：福島駅からJR東北本線上り金谷川駅（約10分）

金谷川駅から会場まで徒歩約10分

大学は駅の東ですぐそばです。

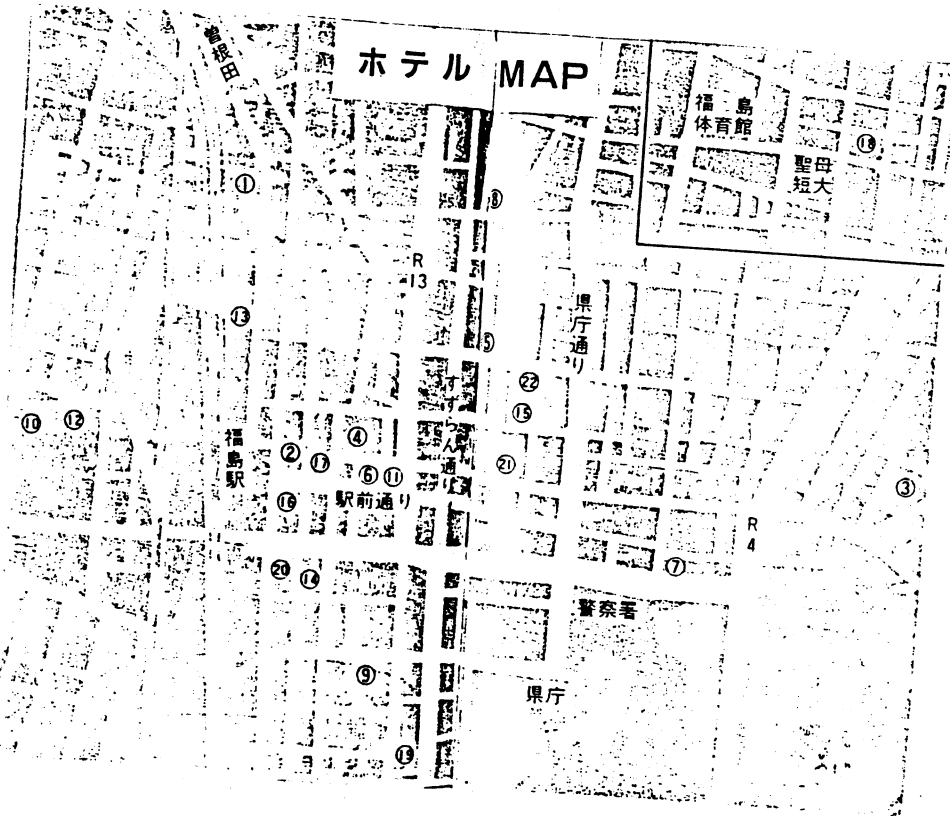
- 資料
1. 福島駅近辺の旅館
  2. 福島市部分は1と重複が多い  
飯坂温泉は飯坂線で福島駅より約30分  
土湯温泉はバスが遅れがち  
穴原温泉以下はバスの本数が少なかったりで不便
  3. 福島駅近辺地図、福島駅近辺の旅館（補）値段表無し
  4. 飯坂の地図
  5. 大学の地図

トポロジー分科会評議員

# 資料1

- |   |   |         |
|---|---|---------|
| ①えびすグランドホテル (曾根田町10-6)<br>② ¥5,000、¥5,500 ㊦ ¥8,800、¥10,000    | 33-4166 ⑫福島ビューホテル (太田町189-1)<br>② ¥6,710、¥7,550、¥8,150              | 31-1111 |
| ②グリーンホテル福島館 (栄町6-4南条ビル)<br>② ¥4,800 ㊦ ¥8,200                  | 21-3796 ② ¥11,000、¥13,900、¥18,700                                   |         |
| ③志乃太旅館 (上浜町8-17)<br>㊦ ¥4,000 ㊦ ¥5,000                         | 22-5537 ⑬福島ワシントンホテル (栄町2-36)<br>② ¥5,500 ㊦ ¥9,680                   | 21-1711 |
| ④シルクホテル (栄町12-2)<br>② ¥4,800、¥5,000 ㊦ ¥8,000、¥9,000           | 21-5211 ⑭ホテル板倉 (早稲町5-17)<br>② ¥4,500~ ㊦ ¥8,000~                     | 23-1221 |
| ⑤セントラルホテル (万世町5-3)<br>② ¥4,000 ㊦ ¥7,000                       | 23-1351 ⑮ホテル金源 (新町2-29)<br>② ¥5,300、¥5,500 ㊦ ¥8,500、¥10,000         | 22-5101 |
| ⑥富士ホテル (栄町11-10)<br>② ¥4,500 ㊦ ¥7,500~9,000                   | 23-1391 ⑯ホテル辰巳屋 (栄町5-1)<br>② ¥6,950 ㊦ ¥9,900、¥12,700、¥13,900        | 22-5111 |
| ⑦ホテルふくしま (舟場町6-1)<br>② ¥4,700、¥5,300 ㊦ ¥8,000                 | 21-321 ⑰ホテル大亀 (栄町7-3)<br>② ¥5,500 ㊦ ¥11,000                         | 22-8989 |
| ⑧オリエントホテル (万世町4-27)<br>② ¥4,500 ㊦ ¥7,400                      | 35-329 ⑱あぶくま会館 (山下町5-28)<br>② ¥5,280 ㊦ ¥4,620 (1人分) 朝食付             | 34-5909 |
| ⑨ホテルサンルート福島 (中町2-6)<br>② ¥5,280、¥5,500、¥5,990 ㊦ ¥8,800、¥9,900 | 21-181 ⑲なかもちソシエ福島全通会館 (中町4-20)<br>一部屋 1人 ¥4,400、2人以上 (1人あたり) ¥4,200 | 21-3131 |
| ⑩福島グリーンパレス (太田町13-53)<br>② ¥5,060 ㊦ ¥9,900                    | 20 ホテルグレースコート (早稲町2-8)<br>② ¥6,350 ㊦ ¥13,800                        | 22-3880 |
| ⑪福島東急イン (栄町11-25ニュー福ビル)<br>② ¥6,000 ㊦ ¥10,000                 | 23-010 ㉑竹屋旅館 (大町2-28)<br>㊦ ¥4,000~4,500 ㊦ ¥5,000~5,500              | 22-6171 |
|   | ㉒ふみや旅館 (新町2-29)<br>一泊 ¥8,000~(2食付)                                  | 23-3577 |

㊦=シングル ㊦=ツイン ㊦=素泊り ㊦=朝食付



# 資料 2-a

建物の説明 部=都庁ホテル ビ=ビジネスホテル 国=観光地ホテル 旅=和風旅館 料=料理旅館  
 公=公共宿泊施設 民=民泊 山=マツジ 他=その他の宿泊所(掲載順)  
 加盟国の案内 国=国内観光施設 政=政府庁舎 日=日本観光施設  
 カードの説明 J=JCB V=VISA U=UC D=DC M=MC マークの説明 国=観光地 国=スキー場 国=受給生の宿  
 料金の説明 単位100円 RC=ルームチャージ(客付のみ) TRC=ツインのルームチャージ

交通網について：私は私鉄を示す

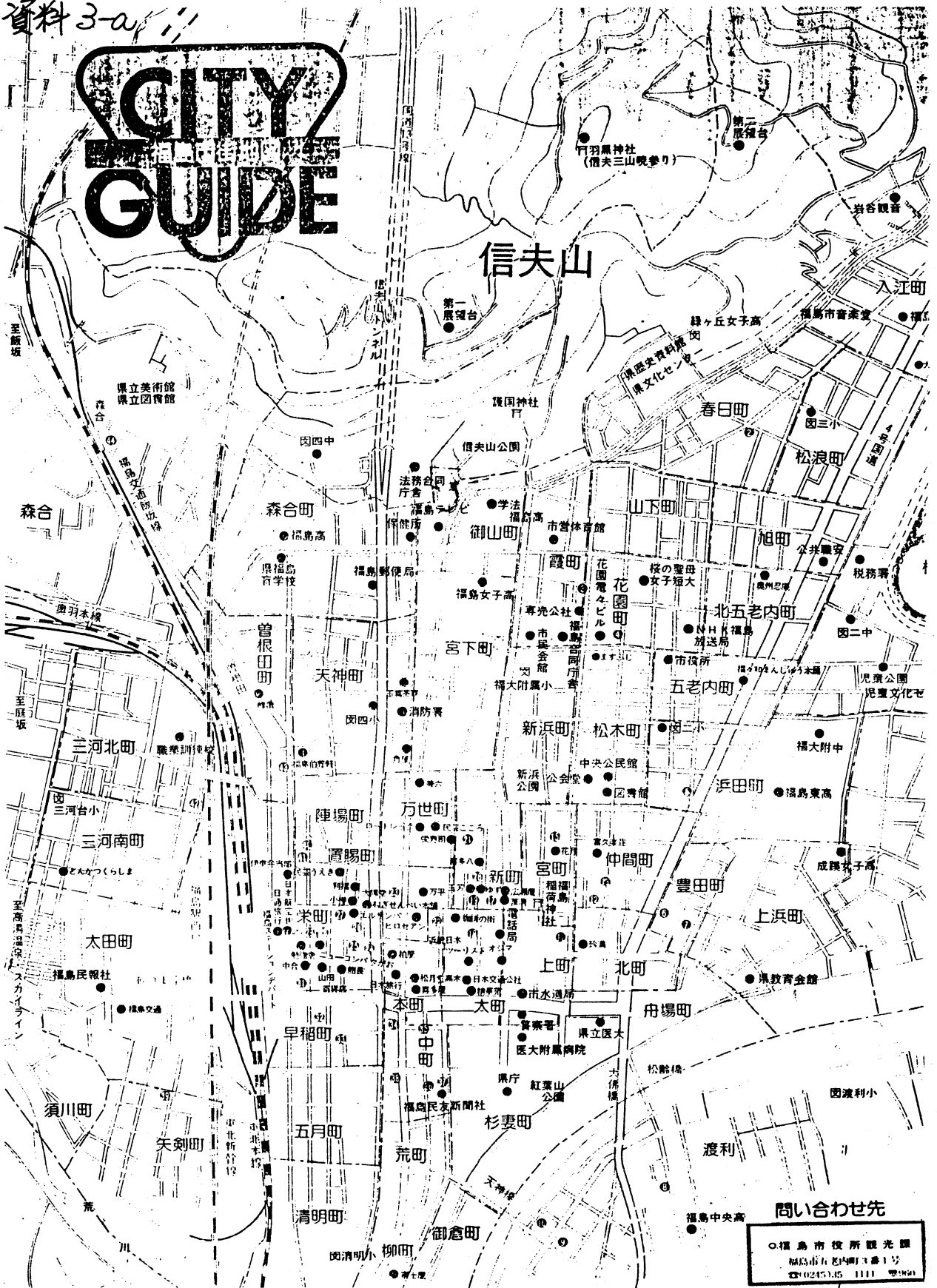
地名	種	加盟	カード	名 称	電 話	室数	収容	料 金	特 徴	駐車	交 通
福島市	部	政	JVIM	ホテル 辰巳屋	0245-22-5111	65	110	RC 70~	駅前デパート隣 商用・観光	120	JR福島駅 歩2分
	部	政		福島ビュートホテル	0245-31-1111	125	180	RC 55~	本格的シティホテル 駅西口が便利	50	JR福島駅 歩1分
	部	政		富士ホテル	0245-23-1391	17	30	RC 50~	駅近く交通至便 観光・商用に	10	JR福島駅 歩3分
	部	政	J	ホテル 金 島	0245-22-5101	19	40	RC 55~	駅付徒歩5分 全室B/T・TV付	30	JR福島駅 歩10分
	部	政	JUM	Hサザンルート福島	0245-21-1811	80	135	RC 50~	駅・官庁街至近 全室冷蔵庫付	30	JR福島駅 歩6分
	部	政	JVIM	福島東急イン	0245-23-0109	118	180	RC 61~	駅前て便利 セミWベット使用	26	JR福島駅 歩5分
	部	政		Hグレースコート	0245-22-3880	28	45	RC 64~	駅東口が便利 観光・商用に	4	JR福島駅 歩3分
	部	政	U	セントラルホテル	0245-23-1351	40	48	RC ~50	市中心に位置 ビジネスに便利	有	JR福島駅 歩7分
	部	政	JU	ソリエントホテル	0245-35-3294	30	46	RC ~50	全室B/T・TV・冷蔵庫付き	有	JR福島駅 歩7分
	部	政	JV	福島グリーンパレス	0245-33-1171	64	90	RC 51~	駅西口が便利 交通至便	有	JR福島駅 歩2分
	部	政	日	えびすグラウンドH	0245-33-4166	105	150	RC 50~	駅近く 国際ホテル棟の設備	100	JR福島駅 歩3分
	部	政	日	ザ・ホテル大亀	0245-22-8989	50	76	RC 55~	私書箱・FAX・ラウンジ等完備	100	JR福島駅 歩3分
	部	政	JU	ホテルふくじかん	0245-21-3211	115	150	RC 47~	官庁街至近 会席料理を賞味	80	JR福島駅 歩10分
	部	政	JVU	グリーンH福島館	0245-21-3796	22	27	RC ~50	駅前て交通至便 中華料理好評	有	JR福島駅 駅前
	部	政	JVUM	福島フントントH	0245-21-1711	162	187	RC 55~	ビジネス街至近 全室冷蔵庫付	60	JR福島駅 歩1分
	部	政	VDM	ホテル きんきかん	0245-22-7125	29	100	60~	市中心て交通至便 閑静な環境	15	JR福島駅 歩6分
	部	政	VUM	ホテル 板倉	0245-23-1221	28	70	60~	駅・官公庁が至近 交通至便	有	JR福島駅 歩5分
	部	政	日	旅館 ふみ屋	0245-23-3577	12	50	80~	官庁至近 年齢層に合わせた料理	14	JR福島駅 歩8分
	部	政	J	竹 屋 旅館	0245-22-6171	20	80	80~	土蔵造り 和風庭園・会談室有	10	JR福島駅 歩7分
	部	政	日	旅館 華 金	0245-22-2265	16	60	65~	駅近く 超音波風呂 閑静な宿	17	JR福島駅 歩5分
部	政	J	旅館 たつき	0245-34-5588	14	50	100~	四季の味覚を満喫 宴会場有	8	JR福島駅 歩5分	
部	政	日	佐 藤 屋 旅館	0245-22-2602	16	57	55~	福向神社前 交通至便て商用向	08	JR福島駅 歩10分	
坂本温泉	部	政	JVUM	坂本観光ホテル	0245-42-3341	49	300	100~	大漁舟盛り・大桐葉が好評美味	50	私 坂本温泉 歩10
	部	政	JVUM	ホテル きんきかん	0245-42-3241	38	165	80~	清流沿い 海・山の会席料理	30	私 坂本温泉 歩5
	部	政	JVM	ホテル 天竜閣	0245-42-2354	47	250	120~	鯉料理・天竜鍋自慢 風光明媚	70	私 坂本温泉 歩10
	部	政	日	ホテル 大島	0245-42-4184	54	220	80~	サウナ付大浴場 終日入浴可	80	私 坂本温泉 歩3
	部	政	U	ホテル 洗心園	0245-42-3354	21	120	70~	大石川の大浴場 スキーに便利	30	私 坂本温泉 歩10
	部	政	JVM	Hニューたちばな	0245-42-2164	18	100	85~	終日入浴可 ゲートボール可	25	私 坂本温泉 歩10
	部	政	VUM	ホテル 翠月	0245-42-2271	24	125	70~	養老軒・弁慶館 大石風呂	45	私 坂本温泉 歩8
	部	政	VUM	ホテル 翠谷	0245-42-4137	20	90	60~	全室川に面す 胃腸病に効能有	20	私 坂本温泉 歩15
	部	政	UM	坂本グランドホテル	0245-42-3326	34	170	100~	舞台付大広間 川魚・山菜料理	100	私 坂本温泉 歩10
	部	政	日	ホテル 聚 妻	0245-42-2201	26	1300	150~	世界3ヶ所へ上賞 かみなり風呂	有	私 坂本温泉 歩5
	部	政	JVD	ホテル 吾妻	0245-42-3236	33	150	120~	料理自慢 ポーリング場あり	100	私 坂本温泉 歩10
	部	政	JVDM	ホテル 山形園	0245-42-3201	61	340	110~	泡風呂付大石風呂 源平瓦焼	100	私 坂本温泉 歩5
	部	政	日	ホテル 山形本館	0245-42-2354	32	150	80~	全室清流に面す 大石風呂	40	私 坂本温泉 歩10
	部	政	JUM	ホテル 小松	0245-42-2161	20	100	60~	駅正面 活鯉料理 終日入浴可	15	私 坂本温泉 歩1
	部	政	日	橋本館別館坂本H	0245-42-2167	25	113	80~	野天岩風呂 名物米沢牛料理	30	私 坂本温泉 歩10
	部	政	VU	ホテル 芙蓉荘	0245-42-4174	24	60	80~	展望風呂 山菜・鯉料理好評	80	私 坂本温泉 歩10
	部	政	日	ホテル 富貴山	0245-42-1155	22	80	80~	アルカリ性温泉有 展望風呂	20	私 坂本温泉 歩10
	部	政	日	ホテル 桃山	0245-42-2147	12	60	70~	舞台付大広間 婦人風呂あり	有	私 坂本温泉 歩10
	部	政	日	ホテル わたや	0245-42-3364	25	110	130~	家庭的な宿 川沿いて閑静	30	私 坂本温泉 歩1
	部	政	JUM	若 蔭 別 館	0245-42-2311	76	350	150~	高台で吾妻連峰を一望 茶室有	100	私 坂本温泉 歩2
部	政	JV	館 新 坂 館	0245-42-4234	60	270	90~	純和風 滝のある日本庭園	60	私 坂本温泉 歩12	
部	政	JV	花 水 館	0245-42-2211	61	300	130~	豪華な内装 広い客室と浴場	60	私 坂本温泉 歩8	
部	政	JVM	池 米 田 館	0245-42-3321	35	170	90~	団体向けシャワー 有 鯉造り	30	私 坂本温泉 歩3	
部	政	JUM	池 米 十 川 館	0245-42-2331	34	220	130~	全室清流に面す 200年の伝統	50	私 坂本温泉 歩5	
部	政	JUD	赤 川 館	0245-42-2221	33	150	120~	数寄屋造り 岩風呂 湯量豊富	40	私 坂本温泉 歩10	
部	政	U	旅館 金 滝	0245-42-5111	25	100	95~	会議・宴会場有 終日入浴可	10	私 坂本温泉 歩12	
部	政	VUM	旅館 一 束	0245-42-4111	26	120	90~	全室数寄屋造り 大石風呂	100	私 坂本温泉 歩10	
部	政	日	小 伊 滝 館	0245-42-4126	31	150	90~	清流を臨む ゴルフ場手配可	30	私 坂本温泉 歩12	
部	政	JVUM	小 伊 勢 屋 館	0245-42-3131	32	150	100~	城をかたどった建物 鮎料理	60	私 坂本温泉 歩12	
部	政	JVDM	若 蔭 竹 荘 館	0245-42-3361	31	190	100~	温泉街中心 展望風呂の夜景	40	私 坂本温泉 歩3	
部	政	日	松 島 尾 館	0245-42-3155	28	150	100~	吾妻連峰を眺望 山菜料理賞味	50	私 坂本温泉 歩2	
部	政	JVM	旅館 千 蔵	0245-42-2371	18	80	120~	露天風呂 深山 山菜料理自慢	20	私 坂本温泉 歩6	
部	政	日	橋 本 館	0245-42-4151	20	100	90~	十割酒に隣接 各種鮎料理賞味	50	私 坂本温泉 歩1	
部	政	JVUM	桶 荷 屋 館	0245-42-3211	12	65	150~	数寄屋造り 全室庭園に面す	15	私 坂本温泉 歩2	
部	政	日	栗 山 館	0245-42-4116	18	85	100~	舞台付宴会場 川魚・山菜料理	有	私 坂本温泉 歩7	
部	政	JVM	春 日 館	0245-42-3281	20	100	80~	山菜・鯉料理 終日入浴可	20	私 坂本温泉 歩5	
部	政	V	館 新 亀	0245-42-3264	14	60	110~	ハヤの三色田楽が好評美味	30	私 坂本温泉 歩3	
部	政	JVDM	若 蔭 旅館 本店	0245-42-3111	51	280	100~	大石風呂 陶板焼・冷熱料理	50	私 坂本温泉 歩1	
部	政	日	福 住 旅館	0245-42-4211	27	150	130~	全室川に面す 陶板焼を賞味	20	私 坂本温泉 歩3	
部	政	JVUD	福 廣 旅館	0245-42-2344	15	70	70~	大石風呂が自慢 部屋食可	40	私 坂本温泉 歩7	
部	政	JU	つ た や 旅館	0245-42-3164	19	90	100~	季節の味覚狩り 終日入浴可	15	私 坂本温泉 歩1	
部	政	JVUM	昭 や 泉 館	0245-42-2244	38	110	100~	数寄屋造りの部屋 送迎有	30	私 坂本温泉 歩3	
部	政	日	昭 や 泉 館	0245-42-2231	17	70	80~	港直りの魚介料理 気泡風呂	60	私 坂本温泉 歩10	
部	政	VUM	平 野 旅館	0245-42-3227	15	65	60~	鮎料理・陶板焼が自慢て美味	5	私 坂本温泉 歩2	
部	政	日	藤 久 尾 旅館	0245-42-4181	13	50	130~	和風宿 山菜・鮎料理が好評	10	私 坂本温泉 歩10	
部	政	JVD	藤 久 尾 旅館	0245-42-3121	18	90	60~	山菜・きのこ料理 展望風呂有	10	私 坂本温泉 歩7	
部	政	日	藤 久 尾 旅館	0245-42-4134	21	120	100~	舞台付大広間 川魚・山菜料理	有	私 坂本温泉 歩3	
部	政	日	藤 久 尾 旅館	0245-42-2347	13	60	100~	温泉街の中心地 終日入浴可	10	私 坂本温泉 歩20	
部	政	VUM	藤 久 尾 旅館	0245-42-2134	17	68	80~	温泉街の中心地 終日入浴可	10	私 坂本温泉 歩2	
部	政	日	藤 久 尾 旅館	0245-42-4154	19	120	80~	大浴場・婦人風呂有 川魚料理	10	私 坂本温泉 歩10	
部	政	JU	吉 野 旅館	0245-42-2438	10	50	70~	閑静な和風宿 スキー・ゴルフ	有	私 坂本温泉 歩10	
部	政	日	太 月 旅館	0245-42-4101	14	60	60~	各種鮎料理が好評 大浴場	有	私 坂本温泉 歩15	
部	政	日	昭 二 井 旅館	0245-42-2301	14	70	65~	舞台付大浴場 送迎有 大浴場	有	私 坂本温泉 歩15	
部	政	日	昭 二 井 旅館	0245-42-2076	10	45	60~	岩盤湯 吾妻スカイラインの探訪	有	私 坂本温泉 歩10	
部	政	J	旅 館 なる	0245-42-6171	20	82	80~	舞台付大広間・大浴場あり	有	私 坂本温泉 歩10	
部	政	J	旅 館 なる	0245-42-3346	12	35	120~	石畳の和風宿 客室ごとに特長	14	私 坂本温泉 歩7	

資料 2-b

交通欄について：私私鉄を示す

地名	種	加	カ	名	電	話	定	収	料	特	車	交										
		盟	ー	林			数	容	金	徴	種	通										
飯坂温泉	旅	日	V	松	良	0245-42-4144	17	68	70~	大浴場・宴会場有 終日入浴可	有	私 飯坂温泉 歩10										
				双	業	0245-42-8111	15	60	80~	高台で風光明媚 野鳥観察可	有	私 飯坂温泉 歩3										
				一	柳	0245-42-4266	12	50	80~	鍋料理 湯量豊富 送迎あり	30	私 飯坂温泉 歩15										
				入	舟	0245-42-3284	13	56	60~	愛宕山公園近くで散策に便利	有	私 飯坂温泉 歩5										
				山	栗	0245-42-4141	12	100	80~	赤川橋の畔で閑静 風光明媚	有	私 飯坂温泉 歩15										
				旅	館	清	山	0245-42-2445	30	180	1100~	温水プール有 舞台付大広間	有	私 飯坂温泉 歩5								
				旅	館	づ	在	0245-42-3381	30	130	80~	閑静な宿 山菜・川魚料理賞味	有	私 飯坂温泉 歩15								
				旅	館	栄	栄	0245-42-2661	8	20	60~	駅近く便利 出張・長期滞在可	有	私 飯坂温泉 歩3								
				旅	館	か	在	0245-42-2733	10	30	50~	季節料理を賞味 中小浴室あり	有	私 飯坂温泉 歩10								
				旅	館	君	邸	0245-42-8000	20	45	180~	総松風呂自慢 終日入浴可	3	私 飯坂温泉 車5								
				旅	館	野	屋	0245-42-3246	31	120	70~	舞台付大広間 川魚・山菜料理	有	私 飯坂温泉 歩2								
				旅	館	胡	館	0245-42-2075	8	35	60~	ビジネス 長期滞在・保養向き	有	私 飯坂温泉 歩3								
				土湯温泉	観	日	J	土	ホ	0245-95-2111	41	250	100~	溪流泊い 地竹丸ゆでが好評	60	JR 福島駅バス45分						
								ホ	テ	0245-95-2141	51	280	100~	鯉の舟盛り料理 温水プール有	100	JR 福島駅バス45分						
								ホ	テ	0245-95-2021	29	155	150~	溪流泊いで眺望抜群 展望風呂	50	JR 福島駅バス45分						
土	ホ	0245-95-2039	22					60	120~	天上展望風呂 京風会席料理	50	JR 福島駅バス45分										
土	ホ	0245-95-2026	85					450	80~	露天風呂・気泡風呂 バス併前	100	JR 福島駅バス45分										
旅	館	山	荘					0245-95-2116	34	230	100~	岩風呂・気泡風呂 川魚料理	70	JR 福島駅バス45分								
旅	館	松	閣					0245-95-2129	22	110	130~	純和風建築 総松風呂が自慢	40	JR 福島駅バス45分								
旅	館	松	雲					0245-95-2121	85	430	120~	サウナ・露天風呂有 山菜料理	120	JR 福島駅バス45分								
旅	館	向	天					0245-95-2041	41	135	150~	庭園風野天風呂 山菜陶板焼	60	JR 福島駅バス45分								
旅	館	岩	城					0245-95-2126	32	130	80~	川魚・山菜料理 終日入浴可	35	JR 福島駅バス45分								
旅	館	水	村					0245-95-2144	17	70	80~	自噴の総松風呂が好評 地竹料理	50	JR 福島駅バス45分								
旅	館	土	富					0245-95-2011	46	200	80~	自噴の総松風呂 山菜陶板焼	80	JR 福島駅バス45分								
旅	館	一	望					0245-95-2114	10	50	80~	展望風呂 山菜料理を賞味	40	JR 福島駅バス45分								
旅	館	辰	巴					0245-95-2146	10	50	220~	純和風宿 割烹料理 松風呂	30	JR 福島駅 車30分								
旅	館	は	ま					0245-95-2031	25	70	50~	女浴・男浴の近く 間欠泉見物	有	JR 福島駅バス45分								
穴原温泉	旅	日	V	は	る	0245-95-2134	24	60	60~	展望エレベーター 大浴場有	100	私 飯坂温泉 バス45分										
				穴	原	0245-42-2261	45	230	100~	大理石・露天風呂等6つの浴場	100	私 飯坂温泉 バス15										
				吉	川	0245-42-2226	55	340	100~	数千坪の和風庭園 露天風呂有	100	私 飯坂温泉 バス15										
				い	づ	0245-42-5167	20	90	80~	眺望良の溪流泊い 温水プール	50	私 飯坂温泉 バス15										
				富	土	0245-42-3191	16	80	60~	全室溪流に面す 山菜料理美味	25	私 飯坂温泉 バス15										
				高湯温泉	旅	日	V	花	月	0245-91-1115	45	160	80~	北沢風建築 スキー・テニスに	100	JR 福島駅バス30分						
								五	子	0245-91-1171	45	160	80~	自然庭園 茅葺きの湯小屋好評	40	JR 福島駅バス30分						
								旅	館	ひ	げ	0245-91-1121	11	50	80~	総料理自慢 スキー・ゴルフに	20	JR 福島駅バス30分				
								旅	館	ひ	げ	0245-91-1027	15	56	70~	木造り風呂 川魚・山菜料理	20	JR 福島駅バス30分				
								旅	館	安	速	0245-91-1155	23	90	70~	露天風呂有 スキー場が目の前	30	JR 福島駅バス30分				
								専川温泉	旅	日	日	安	戸	0242-64-3316	40	140	80~	川魚料理自慢 溪流釣り可	80	JR 福島駅 車60分		
												吉	倉	0242-64-3617	28	75	70~	松風呂・大露天風呂が人気	50	JR 福島駅 車60分		
												川	上	0245-95-2136	20	50	80~	清流泊い 蕎麦料理 混浴風呂	50	JR 福島駅バス45分		
												旅	館	小	旅	0245-95-2029	12	56	100~	山菜料理 山菜鍋 溪流釣り	有	JR 福島駅バス40分
												旅	館	お	き	0245-42-3068	20	100	70~	溪谷美の閑静な一軒宿 宴会場	3	JR 福島駅バス36分
天王寺温泉	旅	日	V									野	地	0242-64-3031	50	175	70~	山合いの一軒宿 露天風呂あり	100	JR 福島駅バス65分		
												野	地	0242-64-3324	38	65	70~	露天・松風呂 スキー場至近	40	JR 福島駅バス65分		
												旅	館	相	模	0242-64-3224	31	120	50~	胃腸・神経痛に効果 登山便利	有	JR 福島駅バス60分
												旅	館	不	動	0245-95-2002	14	50	60~	露天風呂有 3種類の泉質有	有	JR 福島駅バス40分
												旅	館	信	夫	0245-91-1212	28	80	60~	溪谷美絶佳 神経痛の名湯	有	JR 福島駅バス30分
				川上温泉	旅	日	日					旅	館	二	階	0245-91-3173	42	130	50~	療養向きで自炊可 山菜料理	有	JR 福島駅バス20分
												旅	館	赤	湯	0242-64-3217	25	126	55~	露天風呂 山菜料理 冬期休業	有	JR 福島駅バス65分

# CITY GUIDE



## 信夫山

問い合わせ先

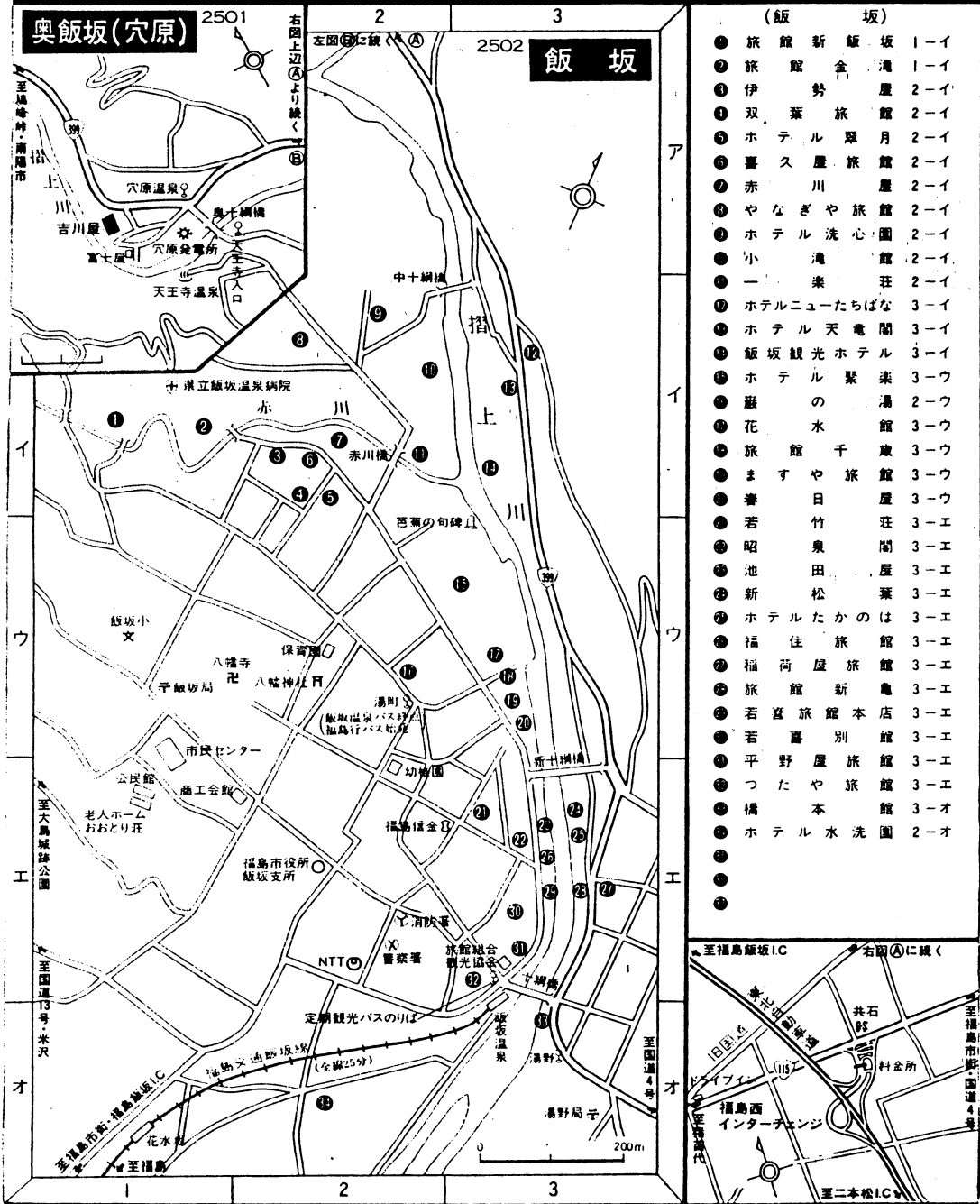
○福岡市役所観光課  
 福岡市五区四丁目3番1号  
 ☎0245.35 1111 電 3940



観光地案内図

No.229

飯坂・奥飯坂



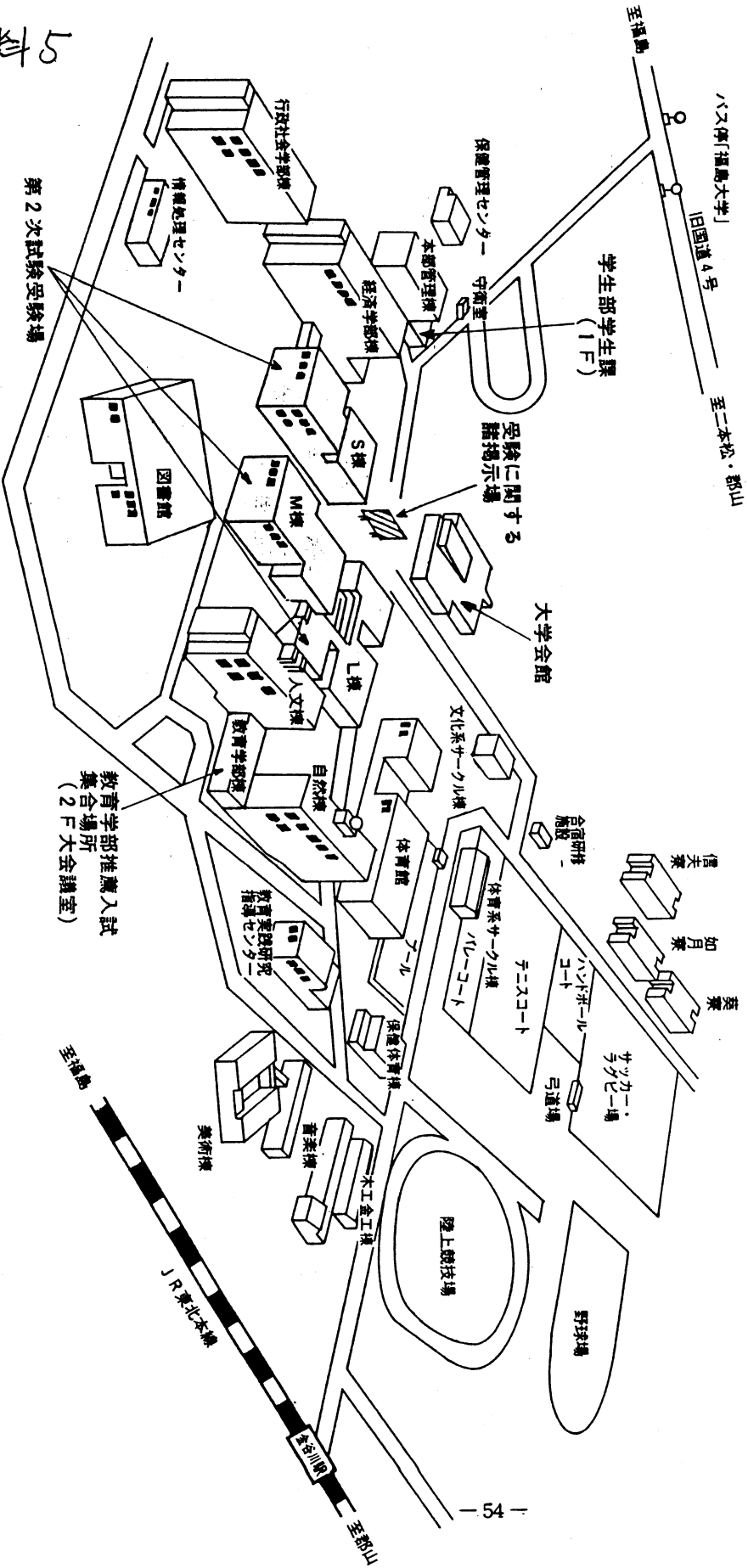
(飯坂)

- 旅館 新飯坂 1-イ
- 旅館 全滝 1-イ
- 伊勢 2-イ
- 双葉 旅館 2-イ
- ホテル 翠月 2-イ
- 喜久屋 旅館 2-イ
- 赤川 屋 2-イ
- やなぎや 旅館 2-イ
- ホテル 洗心園 2-イ
- 小滝 館 2-イ
- 一楽 荘 2-イ
- ホテルニューたちばな 3-イ
- ホテル 天竜閣 3-イ
- 飯坂観光ホテル 3-イ
- ホテル 聚楽 3-ウ
- 蕨の湯 2-ウ
- 花水 館 3-ウ
- 旅館 千歳 3-ウ
- ますや 旅館 3-ウ
- 春屋 3-ウ
- 若竹 荘 3-エ
- 昭泉 閣 3-エ
- 池田 屋 3-エ
- 新松 葉 3-エ
- ホテル かの 3-エ
- 福住 旅館 3-エ
- 福荷 盛 旅館 3-エ
- 旅館 新亀 3-エ
- 若宮 旅館 本店 3-エ
- 若宮 別館 3-エ
- 平野 屋 旅館 3-エ
- つたや 旅館 3-エ
- 橋本 館 3-オ
- ホテル 水洗園 2-オ





# 建物配置図



資料5